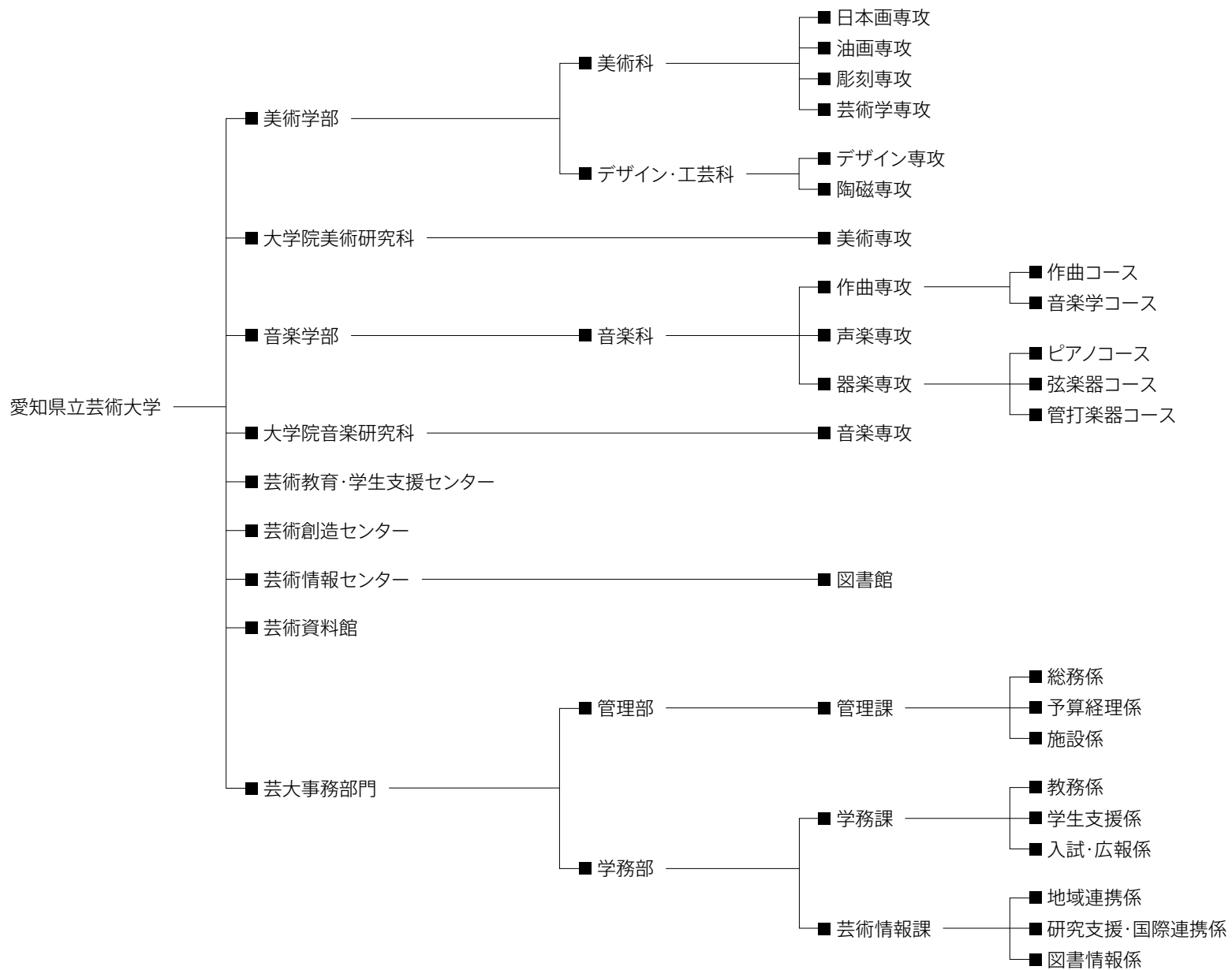


平成 24 年度 愛知県立芸術大学 学外評価会議資料

目次

大学組織	1
愛知県立芸術大学のシンボリックな成果	2
公開講座等の開催状況（平成 22 年度～平成 23 年度）	4
平成 22 年度愛知県立芸術大学サテライト講座	5
平成 23 年度愛知県立芸術大学サテライト講座	7
海外学術交流協定校一覧	8
愛知県立芸術大学女木島プロジェクト	9
芸術資料館等主催展覧会の開催状況（平成 22 年度～平成 23 年度）	17
平成 22 年度法隆寺金堂壁画模写展示館展覧会	18
平成 23 年度法隆寺金堂壁画模写展示館展覧会	19
平成 22 年度サテライトギャラリー実績	20
平成 23 年度サテライトギャラリー実績	21
平成 23 年度藤沢アートハウス企画一覧表	22
H22 年度アウトリーチ活動「アイチ・ジーン AICHI GENE-some floating affairs」 実施結果報告	23
「愛知県立芸術大学模写研究 40 年の歩み 国宝・至宝模写作品展」報告	27
共同図書環事業 Tosho Ring	28
美術学部展覧会の開催状況（平成 22 年度～平成 23 年度）	38
学位（博士）授与報告	39
遠隔講義実績	40
学外演奏会の開催状況（平成 22 年度～平成 23 年度）	41
学内演奏会の開催状況（平成 22 年度～平成 23 年度）	42
平成 22 年度理事長特別研究複合芸術プロジェクト	43
2011 年度愛知県立芸術大学オペラ公演喜歌劇《こうもり》	44
次期中期計画案について	45
愛知県立芸術大学アーティスト・イン・レジデンス報告書（別冊）	

# 大学組織



愛知県立芸術大学のシンボリックな成果

○ 美術と音楽の複合芸術プロジェクト「オペラ公演」(継続)

・ 理事長特別研究費を活用し、著名な指揮者・演出家を招き、美術学部による舞台制作、音楽学部による演奏・コーラスなど芸大の総力を結集したハイレベルなオペラ公演を毎年開催し、好評を博している。H21年度からは、長久手市以外でも公演を行い、観客数も増加している。

○ 国宝・文化財の模写研究の推進(継続)

・ 自治体や民間企業からの受託研究など外部資金も活用して、法隆寺金堂壁画をはじめ文化財の模写に取り組んでいる。長年の研究成果を広く地域に紹介するため、H23年度に松坂屋美術館において、「国宝・至宝模写作品展」を学外で初めて開催し、多数の来場者があった。

○ アーティスト・イン・レジデンスの実施(H19年度～)

・ 理事長特別研究費を活用し、芸術創造センター事業として開始。国際レベルのアーティストを招聘し、ワークショップや教育プログラムなどを実施している。優れたアーティストとの交流により、芸大における教育・研究の活性化につながるとともに、国際交流の進展にも寄与している。

《関連情報》 招聘アーティスト一覧(H19～23年度)

年度	アーティスト名	所属等
H19	アラン・ジョンストン(アーティスト)	エジンバラ美術大学教授
	吉田 恵(オルガニスト)	愛知県立芸術大学非常勤講師
	マリア・デ・フランチェスカ=カヴァッツァ(声楽家)	ミュンヘン音楽大学教授
	藤井 隆也(アーティスト)	NPO法人galerie weissraum代表
	イェルク=ヴォルフガング・ヤーン(ヴァイオリニスト)	元カールスルーエ国立音楽大学教授
H20	菅木 真治(作曲家)	フオンランド美術アカデミー
	ウーヴェ・コミシュケ(トランペット奏者)	ワイマール・リスト音楽院教授
	コラルク[サイモン・カツ&エリカ・ヴァン・ホーン](アーティスト)	アイルランド
	ウ・スノック(アーティスト)	梨花女子大学教授
H21	クラウス・カンギーサー(チェリスト)	国立ケルン音楽大学副学長
	マルク・バティエ(作曲家)	ソルボンヌ大学教授
	ヘンク・コッシュ(プロダクトデザイナー)	ハンブルグ芸術大学客員教授、マインツ応用化学大学客員教授
	ヤナウイット・クンチャエトーン(アーティスト)	シルパコーン大学副学長
H22	ヴィタリー・マルグリス(ピアニスト)	カリフォルニア大学教授
	ジョン・スチュアート・マレー(ランドスケープ・アーキテクト)	エジンバラ美術大学教授
	クラウス・カンギーサー(チェリスト)	国立ケルン音楽大学副学長
	アーサー・ワトソン(版画家)	ダンディー大学教授
H23	ジャック・ボディ(作曲家)	ニュージーランド音楽大学准教授
	コンラート・リヒター(ピアニスト)	東京芸術大学客員教授、東京音楽大学客員教授

○ 大学院の充実(H21年度)

・ 世界に向けて芸術文化を創造・発信する拠点となるべく、美術・音楽各研究科に博士後期課程を設置。高度な芸術教育を実践し、国際的に通用する優れた芸術家・研究者の育成に取り組んでいる。

○ 民間資金を活用した新学生寮の整備(H21年度)

・ 民間経営ノウハウの導入を図り、事業者との建物譲渡特約付定期借地権契約締結により、民間資金にて新学生寮を整備した。アトリエ、レッスン室が併設されており、快適な学生生活を支援している。(H24年6月時点 入居率100%)

《関連情報》 専任教員・多数の非常勤講師により、上記の取組なども通して、質の高い教育を実施し、芸術文化の幅広い分野にわたり優れた人材を育成している。

年度	氏名等	受賞情報
H19	遠藤 美香(油画・版画 院1年)	第4回棟方記念版画大賞展 大賞
	辻井 亜希穂(声楽4年)	第5回長久手町国際オペラ声楽コンクール 特別賞
H20	坂本 夏子(油画・版画 院2年)	第1回絹谷幸二奨励賞
	櫻井 裕子(油画・版画 院2年)	エブソンカラーイメーシングコンテスト グランプリ
H21	柳沢 優子(日本画2年)	第15回松柏美術館 花鳥画展 大賞
	日置ひと美(ピアノ3年)	第15回KOBÉ国際音楽コンクール 最優秀賞
	稲垣 路子(H14年度卒)	第78回日本音楽コンクール トランペット部門 第1位
H22	北村 亜以里(器楽4年)	第8回イタリ国際打楽器コンクールマリンバ部門 カテゴリーB 1st Prize Absolute
	金沢 みなつ(ピアノ 院前期1年)	第11回大阪国際音楽コンクールピアノ部門Age-G 第1位
H23	鈴木 春香(デザイン2年)	第7回美術学生展 in NY2011 アレキサンドラ・シュワルツ賞、同NY市民賞2位
	正木 実季(声楽 院前期1年)	第65回全日本学生音楽コンクール 名古屋大会声楽部門大学の部第1位、同全国大会横浜市民賞
	波馬 朝光(弦楽器3年)	第5回蓼科音楽コンクール 第1位

愛知県立芸術大学のシンボリックな成果

項目	愛知県立芸術大学のシンボリックな成果
<p>(2) 地域貢献・連携の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>サテライト講座の開講 (H19 年度～)</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛知県芸術文化センターにてサテライト講座を新たに開講した。H23 年度までの講座数は 151、参加者は延べ 4,500 人を超え、多くの人々にアートに触れる機会を提供している。H24 年度からは、「愛知芸大講座」として、サテライトギャラリー、豊田市美術館でも講座を開講するなど内容の充実を図り、地域に開かれた大学づくりを推進している。</li> </ul> </li> <li>○ <u>高大連携遠隔事業 (H20 年度～)</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛知県教育委員会の「愛知スーパーハイスクール研究指定推進事業」として、3 年間の外部資金を獲得し、岩倉総合高校と芸大を光回線で結び、高解像度のモニター映像とマイクをとおして、双方向でのコミュニケーションを図りながら遠隔指導する授業を行った。その後も自主事業として継続しており、芸術分野における新たな教育環境の開発に貢献している。</li> </ul> </li> <li>○ <u>名古屋栄にサテライトギャラリーを開設 (H22 年度)</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄町商店街振興組合の協力のもと、名古屋中心部の中央広小路ビルに「サテライトギャラリー」を開設し、あいちトリエンナーレ 2010 パートナーシップ事業としてオープニング展を開催したほか、展覧会やワークショップなど情報発信の場として活用している。また、商店街の歩道には、教員や卒業生の彫刻作品を設置し、賑わいを創出している。</li> </ul> </li> <li>○ <u>瀬戸内アートプロジェクト (H22 年度)</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「瀬戸内国際芸術祭 2010」に大学プロジェクトとして参加し、女木島の空き家を改装して、芸術祭での活動拠点となる「MEGI HOUSE」を開設した。展覧会、コンサート、ワークショップに加え、美術と音楽の複合表現によるパフォーマンスなど、多彩なプログラムを実施した。芸術祭期間中、約 10 万人が女木島を訪れている。</li> </ul> </li> <li>○ <u>「藤沢アートハウス」の開設 (H23 年度)</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体との連携により、旧豊田市立藤沢こども園を活用してアートハウスを開設。教員や学生制作研究のアトリエや公開制作の場として、また、ワークショップなどを通じた地域住民との交流の場として広く活用し、文化振興や地域活性化に寄与している。</li> </ul> </li> <li>○ <u>東日本大震災被災地支援 (H23 年度～)</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛知県芸術文化センターが開催した復興支援チャリティーコンサートに出演協力するとともに、芸大教員・学生主催による「愛・知・絆 チャリティーコンサート」を継続的に開催し、復興支援の輪を広げている。</li> </ul> </li> </ul>
<p>(3) 国際交流の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>学術交流協定校の拡大と積極的な国際交流の推進 (H19 年度～)</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学術交流協定校を 1 校→10 校へ大幅増加させるとともに、アーティスト・イン・レジデンスでの講師招聘や、エジンバラ美術大学及び芸大教員による展覧会の開催など、活発な交流活動を行った。また、音楽学部では、H23 年度に海外留学奨学基金を拡充し、学生の留学を支援・推進している。</li> </ul> </li> <li>○ <u>南京芸術学院と上海万博日本館で初の海外公演を実施 (H22 年度)</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛知県と江蘇省の友好提携 30 周年、芸大と南京芸術学院の交流提携 25 周年にあたり、南京芸術学院との合同演奏会を南京において実施した。また、その後、上海万博日本館愛知県ウィークにおいて演奏を披露し、多数の来場者に対して愛知県の PR を行った。</li> </ul> </li> </ul>

## 公開講座等の開催状況(平成22年度～平成23年度)

年度	事業区分	講座名	講座数	実施 日数 (延べ)	参加 者数 (延べ)
平成22年度	公開講座	絵を動かす「アニメーション入門」	1	1	23
	公開講座	皿と壺(ロクロ成形)	1	5	14
	公開講座	サテライト講座	20	20	1,101
	計		22	26	1138
平成23年度	公開講座	「板に描く」	1	1	22
	公開講座	「1960年代アメリカ美術の一断面ーロバート・スミッソンを中心に」	1	1	9
	公開講座	サテライト講座	21	21	542
	計		23	23	573

# 平成22年度 愛知県立芸術大学サテライト講座

## プレ・サテライト講座

・タイトル	・講師名	・開催日時	・会場（愛知芸術文化センター内）	・定員
■ 美術講座（現代美術）■	受講料（一般）1,000円（学生）500円 ※ 別途、トリエンナーレチケットをご購入いただきます。			
「あいちトリエンナーレ2010」を見ながら、現代美術を読んでみよう				
	森田恒之	22. 8.28 (土) 13:30~15:00	トリエンナーレ会場	10名
	森田恒之	22. 8.29 (日) 13:30~15:00	トリエンナーレ会場	10名

## サテライト講座

・タイトル	・講師名	・開催日時	・会場（愛知芸術文化センター内）	・定員
■ 美術講座（日本画）■	受講料（一般）1,000円（学生）500円			
日本画について	田淵俊夫	22.11.14 (日) 14:00~16:00	アートスペースA	180名
日本画制作の過程を通して	吉村佳洋	22.12.12 (日) 14:00~15:30	アートスペースE・F	60名
■ 美術講座（油画）■	受講料（一般）1,000円（学生）500円			
ゴッホの素描（全時代）	小林英樹	22.10.22 (金) 19:00~20:30	アートスペースA	180名
オランダからアルルの夏までの油絵作品	小林英樹	22.10.29 (金) 19:00~20:30	アートスペースA	180名
アルルの夏から最後の油絵作品	小林英樹	22.11.12 (金) 19:00~20:30	アートスペースA	180名
ゴッホの贋作を、造形的特徴から明らかにする	小林英樹	22.12.10 (金) 19:00~20:30	アートスペースA	180名
東西の視覚（絵画表現の差異）	歌田眞介	22.12.11 (土) 14:00~16:00	アートスペースE・F	60名
■ 美術講座（デザイン）■	受講料（一般）1,000円（学生）500円			
色彩 — 講義と作品講評会	白木 彰	22.11.27(土) 13:00~16:20	アートスペースE・F	40名
文字の世界 — 漢字を知る、楽しむ	佐藤直木	22.11.28(日) 13:00~14:30	愛知芸大サテライトギャラリー	30名
■ 音楽講座（演劇論）■	受講料（一般）1,000円（学生）500円			
「市街劇」をめぐって	大塚 直	22.11.20(土) 14:00~16:00	アートスペースE・F	60名
■ 室内楽 ■	受講料（一般）2,000円（学生）1,000円 ※ 一般のみ回数券があります。室内楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ連 5,000円			
響宴 — 室内楽の魅力Ⅰ 【ブラームス】	語り：天野武子 演奏：掛谷勇三(pf)・竹村淳司(hn)・福本泰之(vn)・白石禮子(vn)・天野武子(vc)			
		22.10.27(水) 19:00~20:30	中リハーサル室	120名
響宴 — 室内楽の魅力Ⅱ 【シューマン】	語り：天野武子 演奏：加藤美緒子(pf)・白石禮子(vn)・桐山建志(vn)・百武由紀(va)・福本泰之(va)・天野武子(vc)			
		22.11.25(木) 19:00~20:30	中リハーサル室	120名
響宴 — 室内楽の魅力Ⅲ 【メンデルスゾーン】	語り：桐山建志 演奏：加藤美緒子(pf)・福本泰之(vn)・白石禮子(vn)・桐山建志(va)・百武由紀(va)・天野武子(vc)			
		23. 1.29(土) 14:00~15:30	中リハーサル室	120名

■ **レクチャーコンサート（ピアノ）演奏とお話** ■ 受講料（一般）2,000円（学生）1,000円

「近現代のピアノ作品をめぐって」 第2回 ― アメリカ編 その2 ―

松本総一郎 22.12.4(土) 14:00~15:30 中リハーサル室 90名

■ **公開レッスン（声楽）** ■ 受講料（レッスン受講）3,000円（見学：一般）1,000円（見学：学生）500円

北欧の歌曲 ―スウェーデン、ノルウェー、フィンランドから―

ビルギッタ・ノルドファルク

22.11.7(日) 14:00~15:30 大リハーサル室 90名

※ 受講者は、愛知県立芸術大学大学院の学生です

日本の歌曲を歌う 第3回目 末吉利行 23.1.30(日) 13:30~15:30 中リハーサル室

※ 受講者を募集します。詳しくは、講座パンフレットをご確認ください（後日配布）

■ **公開レッスン（ピアノ）** ■ 受講料（レッスン受講）3,000円（見学：一般）1,000円（見学：学生）500円

ショパン「練習曲 作品10、25」から学ぶこと

熊谷恵美子 22.11.13(土) 14:00~16:00 中リハーサル室 90名

※ 受講者を募集します。詳しくは、講座パンフレットをご確認ください（後日配布）

■ **公開レッスン（ヴァイオリン）** ■ 受講料（レッスン受講）3,000円（見学：一般）1,000円（見学：学生）500円

音で語る Ⅲ

白石禮子 22.11.6(土) 14:00~16:00 中リハーサル室 90名

※ 受講者を募集します。詳しくは、講座パンフレットをご確認ください（後日配布）

oo

主 催 愛知県立芸術大学・愛知芸術文化センター

開催場所 愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA、E・F 地下2階 大リハーサル室・中リハーサル室

住所：名古屋市東区東桜1-13-2（地下鉄「栄駅」4番出口より徒歩約5分）

愛知県立芸術大学サテライトギャラリー

住所：名古屋市中区錦3丁目21番 中央広小路ビル3階（地下鉄「栄駅」9番出口より徒歩約5分）

## 平成 23 年度 愛知県立芸術大学サテライト講座

### 講座一覧

No.	種別	日付	時間	講座名	講師	受講料		会場	定員
1	ワークショップ	7/22(金)	10:30~12:00	視覚の冒険—殿様たちが覗いたもの— —“親子で楽しむ科学講座”	松野 修	親子一組 ,3,000 円		E・F	20 組
2	レクチャーコンサート	10/9(日)	14:00~15:30	スラヴ音楽への旅 ～ユーモアを交えたお話と演奏～	鈴木謙一郎	一般 2,000 円	学生 1,000 円	中リハ	90
3	座学	10/15(土)	14:00~16:00	「ドラマトゥルクの仕事」について	大塚 直	一般 1,000 円	学生 500 円	E・F	30
4	公開レッスン	10/16(日)	13:30~15:30	日本の歌曲を歌う ※レッスン受講者選考有(受講料 3,000 円)	末吉利行	一般 1,000 円	学生 500 円	中リハ	90
5	座学	10/22(土)	13:30~15:00	自然・社会・人間・美術 ～アートによる地域づくりを考える～	北川フラム	一般 1,000 円	学生 500 円	A	180
6	座学	10/29(土)	13:30~15:00	長久手町のグラフィックデザイン ～地域と大学が作るデザイン～	佐藤直木	一般 1,000 円	学生 500 円	サテライト ギャラリー	40
7	座学(作品講評)	10/30(日)	13:30~15:00	デザインって、なーんだ、こんなことなのか	白木 彰	一般 1,000 円	学生 500 円	E・F	60
8	ワークショップ	11/3(祝)	13:30~15:30	イラストレーション入門 「観察と表現」	今尾泰三	一般 2,000 円	学生 1,000 円	サテライト ギャラリー	20
9	座学	11/5(土)	14:00~15:30	イタリア語を声で表現しよう 第1回 声を出すコツを探る	水野留規	一般 1,000 円	学生 500 円	中リハ	40
10	座学	11/6(日)	13:30~15:00	運命はかく扉をたたく	菰田 勝	一般 1,000 円	学生 500 円	中リハ	60
11	レクチャーコンサート	11/12(土)	14:00~16:00	生誕 200 年 リストとは何者か?	北住 淳	一般 2,000 円	学生 1,000 円	中リハ	90
12	座学(読書会)	11/15(火)	18:30~20:00	「悪の花」の詩篇を読む	内田善孝	一般 1,000 円	学生 500 円	サテライト ギャラリー	30
13	公開レッスン	11/19(土)	14:00~15:30	イタリア語を声で表現しよう 第2回 正しく発音するコツを探る	水野留規	一般 1,000 円	学生 500 円	C	40
14	座学	11/20(日)	13:30~15:45	比較文化的リズム考 —レクチャー&ワーク シヨップ—	久留智之	一般 1,000 円	学生 500 円	E・F	20
15	ワークショップ	12/3(土)	10:00~15:00	森のフロッタージュ	山本富章	一般 2,000 円	学生 1,000 円	緑化セ ンター	20
16	座学	12/6(火)	19:00~20:30	マイセン窯から始まるドイツと日本の陶磁器デ ザイン	長井千春	一般 1,000 円	学生 500 円	E・F	60
17	座学	12/9(金)	19:00~20:30	デルフトの光 - フェルメールとの出会いを求 めて - その1	小林英樹	一般 1,000 円	学生 500 円	A	180
18	レクチャーコンサート	12/12(月)	18:30~20:00	バロック・ヴァイオリンとモダン・ヴァイオリン	桐山建志	一般 2,000 円	学生 1,000 円	中リハ	90
19	座学	12/16(金)	19:00~20:30	デルフトの光 - フェルメールとの出会いを求 めて - その2	小林英樹	一般 1,000 円	学生 500 円	A	180
20	ワークショップ	12/24(土)	18:00~20:30	オーケストラにおけるホルンの進化と魅力	竹村淳司	一般 2,000 円	学生 1,000 円	中リハ	100
21	レクチャーコンサート	1 月(未定)	15:00~16:30	変奏曲の魅力(ピアノ演奏:鈴木謙一郎)	小林 聡	一般 2,000 円	学生 1,000 円	中リハ	90
	合計	21講座							



海外学術交流協定校一覧

学 部	学術交流協定校	所在地	締結年月	H22年度までの実績の概要	H23年度の交流の状況	H24年度の交流の状況
音楽学部	ケルン音楽大学	ドイツ ケルン	H23.1.31	H20・教員の派遣 安原准教授 H21・教員の派遣 天野教授 ・アーティストインレジデンス企画でクウス・カンギンサ教授を招き、 学内で公開講義。学外で関連企画(コンサート)を実施 H22・教員の派遣 天野教授	・学生留学の実施に向けて協議を行い、留学事業の実施を決定	H24年4月・学生留学(派遣)を開始 ピアノ領域(博士課程前期2年生) 三上絵里香さんが1セミスター(予定)留学 戸山教授(音楽学部長)、松本芸術情報課長が訪問 学長・副学長との会談を行い、協定の更新や今後の留学事業について協議 《協定の自動更新あるいは年限の延長について了解を得る》 留学生との面談を実施 * 併せて学内では留学規程の検討・設置を目指す(学務部・教務係、教務委員長 三宮教授) 芸術情報課にて『留学のてびき』を作成予定
	マンハッタン音楽院	米国 ニューヨーク	H23.3.9	H20・マンハッタン音楽大学学長他2名の本学への来学 ・教員の派遣 掛谷准教授 H21・教員の派遣 天野教授	・交流内容の詳細について調査・協議を実施	未定
	クラコフ音楽院	ポーランド クラコフ	H23.3.29	H22・教員の派遣 熊谷教授	・交流内容の詳細について協議を実施	未定
	ソルボンヌ大学	フランス パリ	H23.6.17	H21・アーティストインレジデンス企画でマーク・バティエ教授を招き、 学内で公開講義。学外で関連企画(シンポジウムとコンサート) を実施 H22・教員の派遣 井上教授	・教員の相互訪問訪問。 ・学生留学の実施に向けて実地調査を実施	H24年7月 アーティストインレジデンス企画で再度マーク・バティエ教授を招聘予定 今後の留学事業について、井上教授(音楽学部 音楽学)と詳細な協議も予定
	ハンブルグ音楽大学	ドイツ ハンブルグ	H23.11.8	H23・ピアノ専攻にナットケンパー教授を客員教授として受入	・客員教授・ナットケンパー教授を通じて学生留学の実施を決定	H24年4月・学生留学(派遣)を開始 ピアノ領域(博士課程前期2年生) 中村 育さんが1セミスター(予定)留学 戸山教授(音楽学部長)、松本芸術情報課長が訪問 学長との会談を行い、今後の留学 事業について協議 留学生との面談を実施 * 10月にはランブソン学長が訪問予定
	リスト音楽院	ハンガリー	H23.12.15	H22・協定締結について呼びかけ H23・熊谷教授が交流協議	・ピアノ専攻熊谷教授を通じて協議を行い、協定締結	学生留学(派遣)の可能性について協議予定(H24・7月 ピアノ専攻 熊谷教授に依頼) 定期的な学生留学(派遣)の可能性について模索
音楽学部 美術学部	南京芸術学院	中国 江蘇省	S60.10.15	H19・宗次ホールで馬莉教員と天野教授によるフェロアンサンブルコンサート H22・南京芸術学院との交流演奏会 ・客員共同研究員として馬莉教員が来日、交流演奏会を実施	・教育研究資料・情報などの交換	平成24年度は、南京芸術学院100周年記念事業が実施される予定 本学からは学長、細川教授(美術学部長)、岡本学務部長(3名)が参加予定 (H23年度の計画では学生参加事業を計画していたが、社会状況を鑑みて変更) 予算については国際交流事業費とは別途要求予定
美術学部	エジンバラ美術大学	イギリス エジンバラ	H21.2.12	H19・教員の招聘 アラン・ジョンソン教授(アーティストインレジデンス) リサ・マッケンジー講師レクチャー、学生交流、研究交流 マーティン・パーカー教授による本学表敬訪問 H20・学生交換プロジェクトで油画版画領域研究生1名を派遣および エジンバラ美術大学学生を1名をデザイン専攻で受け入れ。 ・エジンバラ美術大学学長による本学訪問 H21・教員の招聘 テウイット・ウィリアムズ 写真専攻長によるレクチャー ジュリア・マーティン、クリス・スピードひよるトーク・討議 ・教員の派遣 学長、安原准教授 ・教員による現地滞在制作 倉地准教授、井出准教授 ・展示会の開催 エジンバラ美術大学企画(招聘)による本学教員の 個展開催<寺内教授・ジョンソン教授がキュレーターとして> H22・展示会の開催 交流プロジェクト「ダブル・ディアブル」の関連企画として、 アーサー・ワトソン教授(タンディ大学)を招聘<アーティストインレジデンスとして> 展示会・レクチャー・ワークショップを開催	・スタッフ・教員・学生の交換 ・教育・リサーチ・研究情報の交換 ・共通するプロジェクトやリサーチの実行 ・展示会の開催 ロイヤルスコティッシュアカデミーにおいてプロジェクト「ダブル・ディアブル」の経過報告展 示 <イアン・ハワード学長、アーサー・ワトソン教授、倉地准教授、井出准教授による>	H24年4月・Ross Maclean教授来学 (水津研究室・林育正さんを通じて連絡あり) 同大学の学生6名も同行し、水津研究室と交流(県大 非常勤宿舎に滞在)  4月13日、Maclean教授は磯見学長と面会し、新学長よりの親書を手渡し その後、水津研究室では、本学ほか女木島島で交流  10月、磯見学長のエジンバラ訪問、および滞在制作・展示会を予定  * H25年度には、ジョン・マレー教授(アーティストインレジデンスに参加経験あり)が来日を予定
	ボストン美術館芸術大 学	米国 ボストン	H23.2.2	H22・ボストン美術館芸術大学 プラットン学長来学 H23・ボストン美術館芸術大学で共同展示会“Forms in Flux”を開催(3/26~ 4/25)	・教育研究資料・情報などの交換 ・教員の訪問<天野教授・白河准教授> ・共同展示会開催 ・H23.4月 名古屋ボストン美術館との共催事業、 「ジム・タイン講演会」を本学奏楽堂にて実施	平成24年度、名古屋ボストン美術館が主催となり、共同展を開催予定 本学からはH23年度と同作品(油画専攻白河准教授・倉地准教授・大崎准教授)を出品 予定 ボストン美術館芸術大学からはH23年度とは異なる作家が出品 本事業に関する記録集を作成予定(名古屋ボストン美術大学との共同事業)
	シラバコーン大学	タイ バンコク	H23.2.23		・教育研究資料・情報などの交換 ・教員の相互訪問訪問 ・共同展示会開催	未定  * 倉地教授にカウンターパートとして進めて頂けるよう依頼済 来年度以降、学生を含めた共同展の構想も有り

平成24年度以降 国際交流協議(予定)校

学 部	学術交流協定校	所在地	交流予定	これまでの交流の状況	今後の方針
美術学部	ロンドン芸術大学 セントラルマーティンス校	イギリス ロンドン	H24 9月頃		平成24年11月、寺内教授(美術学部油画専攻)が渡航し、交流事業の可能性について 協議予定
美術学部	ホンイク大学 ソウル中央大学 ほか	韓国	未定	・平成23年1月、韓国の大学との協定締結の可能性について調査を実施	未定 協定という形ではなく、その都度臨機応変に各大学との交流事業を進めていく
美術学部 音楽学部	国立台南芸術大学	台湾	未定	・平成23年12月、台南芸術大学からの希望により本学の見学および、協議 を実施 平成24年3月、芸術創造副センター長(美術学部 油画専攻)山本教授、 (音楽学部ピアノ専攻)北住教授および事務担当(友次)が台南芸術大学視 察(および交流協議)実施	未定 当面は協定という形ではなく、その都度臨機応変に大学との交流事業を進めることが可 能。本学卒業生が教員として活躍しており、教員を招聘しての講義、アーティストインレジデンス 等の実施が考えられる。また、短期間(1週間程度)の学生の交流事業等の実施につい て検討

## 愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクト

2010年、愛知県立芸術大学は、瀬戸内国際芸術祭に参加しました。

MEGI HOUSE (メギハウス) とは? 「MEGI HOUSE」とは、瀬戸内国際芸術祭において様々なプログラムを展開する愛知県立芸術大学の、活動拠点となるアートスペースの名称であり、それ自体が様々な表現の集合体です。表現は徐々に増えていく予定ですが、現在の構成は以下のよう。

### 『想起の床』

制作:井出 創太郎

寿命を迎えた銅版画の版を研磨し、床に敷きつめた作品

### 『opera glass』

制作:陶磁専攻(プロジェクトリーダー:榊原 扶美 アシスタント:吉田 早希 監修:長井 千春)

MEGI HOUSE のアプローチを構成する 10 万個超の陶製のチップと瀬戸内の水の深さをイメージした水盤による作品

### 『星のオルゴール』

制作:大河内 俊則

MEGI HOUSE (岸田邸) を通る子午線が星を通過するとき、その星の高度と明るさによって異なる電子音を発する作品

### 『大縁側』

デザイン:水津 功・笥 清澄 制作:沢山の人々

室内から屋外へ伸びる、長大な縁側。プロジェクトの性格を表現する大きなファクターであると同時に、様々なパフォーマンスや、休息、思索の“場”を提供する

### (通称) 『R壁』

デザイン:水津 功・笥 清澄 制作:沢山の人々

岸田亭にあって解体された建物の廃材を用いて作られた、高さ 3m長さ 13m超の壁。岸田邸の来歴の一部を記憶するこのオブジェクトは、R=弧を描きながら母屋に陥入することで一体となる

(通称)『のぞき窓』

制作:神田 每実

屋内に差し込む光の変化や影響、屋内から庭へと広がる光景を终日楽しむ細長い穴

(通称)『反響板』

メカニズム構想:鈴木成高 制作:彫刻専攻造形Ⅱ受講生の一部

板面形状基本デザイン:水津 功

演奏会の前後に姿を現す、水草の形態をもとに決められた乳白色の盤面を持つ音場形成用の仕組み。盤面を回転させることにより、多様な角度を設定できる。

『 』

制作:山本富章

解体された、江戸時代(?)の朱い番傘を用いて制作された、MEGI HOUSE 完成後最初のパーマネント作品。

イベントスケジュール 2010

「喜びの島～女木島 I」

女木島愛知芸大サイトを舞台に夜空の下、女木島の自然とその鬼ヶ島伝説をテーマに選曲されたクラシック音楽作品の数々をピアニスト掛谷勇三(愛知県立芸術大学准教授)の演奏で聴く。

演奏曲目:ドビュッシー:喜びの島、水の反映、ラフマニノフ:音の絵 op.39-2「海とかもめ」、スクリャービン:ソナタ第2番 他

場所:MEGI HOUSE

日程:8/1(日) 18:00 開場・18:30 開演(20:00 終演予定)

「喜びの島～女木島 II」

女木島愛知芸大サイトを舞台に夜空の下、女木島の自然とその鬼ヶ島伝説をテーマに選曲されたクラシック音楽作品の数々をピアニスト鈴木謙一郎(愛知県立芸術大学准教授)の演奏で聴く。

演奏曲目:ドビュッシー:喜びの島、リスト:バラード第2番、ショパン:前奏曲「雨だれ」、他

場所:MEGI HOUSE

日程:8/7(土) 18:00 開場・18:30 開演(20:00 終演予定)

### 「お盆に小さなコンサート」

女木島の方々をメインのゲストとして行う“小さなコンサート”。愛知芸大音楽学部に通う二名学生による、ピアノを用いた“音楽劇”(?)と、愛知芸大OBであり、女木島出身の声楽家熊谷公博氏のプログラムにより構成。コンサート終了後に、高松市の花火大会が始まる。

場所：MEGI HOUSE

日程：8/13（金） 18:00 開場・18:30 開演（19:30 終演予定）

プログラム

第一部：音楽劇『ちょっとした学芸会～2匹のかえると宝の島』

出演：松島里佳（愛知県立芸術大学音楽学部生3年生）

伊藤実彩（愛知県立芸術大学音楽学部生3年生）

曲目：かえるのうた（ドイツ民謡） ひょっこりひょうたん島（宇野誠一郎）

干からびた胎児より なまこの胎児（E・サティ） 少年時代（井上陽水） 他

第二部：Una serata del canto

出演：熊谷公博/バリトン独唱/（声楽家・徳島文理大学音楽学部教授）

熊谷建之介/ピアノ伴奏/（声楽家）

曲目：初恋（越谷達之助） 浜辺の歌（成田為三） 待ちぼうけ（山田耕筰）

赤おにと青おにのタンゴ（福田和禾子） 他

### 「喜びの島～女木島 III」

ピアニストであり、愛知県立芸術大学音楽学部准教授である北住 淳によるピアノコンサート。女木島愛知芸大サイト（MEGI HOUSE）を舞台に夜空の下、演奏家北住 淳（愛知県立芸術大学准教授）の演奏を聴く。

演奏曲目：ドビュッシー：喜びの島、他

場所：MEGI HOUSE

日程：8/28（土）18:00 開場・18:30 開演（20:00 終演予定）

### <MEGI> (Music and Electrically Generated Information)

電子音響を主体とし、生演奏、コンピュータ、アコースモニウム、映像等の多彩な手法を活用した複合的芸術空間を構築するコンサート。

中村滋延・渡辺圭介：《ラーマの影》コンピュータ音響・映像によるデジタル影絵

寺井尚行：電子音響、物理音響と映像による《潮風》

大河内俊則：《何を見ても何かを思い出す》生演奏、電子音と映像による 他

企画：音楽学部電子音楽研究室

アーティスト：中村滋延・寺井尚行・岩本 渡・大河内俊則・檜垣智也 他

場所：MEGI HOUSE

日程：10/10（日）18:00 開場・18:30 開演（20:00 終演予定）

上演作品

檜垣 智也：Voyage of memoies（記憶を巡る旅）

岩本 渡：Colors（カラース）

中村 滋延/藤岡 定：Ramayana on the "Cubie"（Cubie によるラーマヤナ）

大河内 俊則：Everything reminds me of something（何を見ても何かを思い出す）

寺井 尚行/水津 功：Sea breeze（電子音響、物理音響と映像による《潮風》）

### 「北住 淳 ピアノ mini コンサート」

演奏：北住 淳

場所：MEGI HOUSE

日程：10/29（土）10：00 頃 開演（30 分位で終演の予定）

### 「海ファンファーレ」

MEGI HOUSE を中心にした数ヶ所にて金管アンサンブルがファンファーレを演奏し、広大な空間に音響空間を形成していくコンサート。プログラムは作曲専攻教員 4 名の新作ファンファーレを中心に構成される。

企画：音楽学部作曲専攻（寺井尚行・久留智之・小林聡・山本裕之）

演奏：稲垣路子・香川県吹奏楽連盟

協力：香川県吹奏楽連盟

場所：女木小体育館

日程：10/31（日）13:00 開演（終演時間未定）

### 「策略のサウンドーThe Sound of Tactics」

愛知県立芸術大学の音楽・美術両大学院において実施される複合表現プログラム。

企画：安原雅之・森 真弓

場所：MEGI HOUSE

日程：ワークショップ…8/22（日）※終了致しました

展示…9/22（水）～

追加ワークショップ…9/25（土）※終了致しました

### 「matsuRHYTHM」

来場者、住民の参加自由。女木島愛知芸大サイト付近から竹製の打ち物を鳴らしながら歩き始め、様々なリズム表現をしながら島の各所をめぐるパフォーマンスを行う。最後は再びサイト付近に集合し全員で巨大な演奏を繰り広げる。前日に打ち物作りと、パフォーマンスについての解説や打ち物の演奏のためのワークショップを行う。

企画：寺井尚行・深町浩司・神田每実

演奏：池永健二・香川県吹奏楽連盟・一般公募参加者

協力：香川県吹奏楽連盟

場所：島全体（参加者は、サイト付近から出発し、分散して島内を歩き回りながら演奏し、再びサイト付近に集合する）

### 「YAMAMOTO Tomiaki 制作公開」

MEGI HOUSE に新たな表現を付加します。その制作を公開いたします。

制作：山本 富章（愛知県立芸術大学美術学部教授）

協力：こえび隊

場所：MEGI HOUSE

日程：10/22（金）～10/24（日）

### プロジェクト研究1 現地集中講義（演習）

様々な表現媒体の専門家たちによる“構成”をキーワードにした超ハードオムニバス授業

企画：美術研究科彫刻領域神田研究室

講師：小田光宏（図書館情報学・青山学院大学教授）・石井達朗（舞踏、パフォーマンス、儀礼研究評論・慶応義塾大学教授）・二瓶弘明（日本文学・愛知県立芸術大学教授）・大河内俊則（作曲・愛知県立芸術大学非常勤講師）・小林優仁（舞台美術・愛知県立芸術大学非常勤講師）・神田每実（造形美術・愛知県立芸術大学准教授）・水津功（ランドスケープデザイン・愛知県立芸術大学准教授）

対象：愛知芸大学生／※一般来場者は、参観のみ可能

場所：MEGI HOUSE および必要であればサイト外

日程：7/24（土・終日）～7/31（土・午前）

## 芸術資料館等主催 展覧会の開催状況(平成22年度～平成23年度)

年度	展 示 名 称	日数	入場者数	一日平均	備 考
22	法隆寺金堂壁画模写春季展(第2期)	12	152	13	
	法隆寺金堂壁画模写春季展(第3期)	12	229	19	
	四芸祭学生作品展	4	774	194	
	平成22年度アウトリーチ「アイチ・ジーン」展	18	1,003	56	
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(第1期)	14	614	44	
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(第2期)	14	416	30	
	芸術祭学内公募作品展(パルケ)	3	710	237	
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(第3期)	11	166	15	
	研究生・研修生作品展／卒業・修了制作優秀作品展	8	282	35	
	平成22年度アウトリーチ「アイチ・ジーン」展 清須市はるひ美術館	18	592	33	
	平成23年度アウトリーチ「アイチ・ジーン」展 豊田市美術館	11	1,116	101	
	法隆寺金堂壁画模写春季展(第1期)	13	137	11	
	計	138	6,191	45	
23	法隆寺金堂壁画模写春季展(第2期)	12	175	15	
	法隆寺金堂壁画模写春季展(第3期)	12	133	11	
	平成23年度収蔵品展 1900 -from the collection-	20	699	35	
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(第1期)	15	265	18	
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(第2期)	12	424	35	
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(第3期)	12	151	13	
	研究生・研修生作品展卒業・修了制作優秀作品展	8	370	46	
	法隆寺金堂壁画模写春季展(第1期)	13	109	8	
計	104	2,326	22		

平成22年度法隆寺金堂壁画模写展示館展覧会

期	展示の名称	展示の期間	休館	日数 (休館を含めず)	展示作品及び内容	入館者
春季第2期	法隆寺金堂壁画模写春季展	平成22年 4月16日(金)～ 4月30日(金)	18日(日) 19日(月) 26日(月)	12	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。 ○昭和24年に焼損した法隆寺金堂壁画の四方浄土図4面と諸菩薩像8面。内陣に描かれた20面の飛天図とともに現状模写で再現し公開します。制作当初の姿に復元した飛天図1点も併せて陳列します。	152
	特別陳列－ 高松塚古墳壁画模写				●高松塚古墳壁画東西北壁画模写、及び天井画模写各1点、合計4点。近年劣化が問題化されている高松塚古墳壁画。1972年、発見当初と変わらない美しい色彩を、そのまま写した現状模写をご紹介します。	
春季第3期	法隆寺金堂壁画模写春季展	平成22年 5月18日(火)～ 5月30日(日)	24日(月)	12	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	229
	特別陳列－ 俱舎曼荼羅図模写・絵因果経(東京芸大本)模写				●俱舎曼荼羅図模写1点、絵因果経(東京芸大本)11点。東大寺に伝わる俱舎宗の祖師像を描いた平安時代の絵画資料を模写。大らかな奈良時代の仏伝図《絵因果経》(東京芸大本)模写とともにご紹介します。	
秋季第1期	法隆寺金堂壁画模写秋季展	平成22年 9月16日(木)～ 9月30日(木)	27日(月) (20日・月は開館)	14	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	614
	特別陳列－ 法華寺所蔵阿弥陀三尊及び童子像模写				●阿弥陀如来像模写1点、観音・勢至菩薩像模写1点、童子像模写1点の合計3点。 ○平安時代後期の代表的な仏画で、異色の来迎図として有名な阿弥陀三尊及び童子像の模写をご紹介します。	
秋季第2期	法隆寺金堂壁画模写秋季展	平成22年 10月16日(土)～ 10月31日(日)	18日(月) 25日(月) (通常休館の10月17日・日は開館)	14	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	416
	特別陳列－神護寺所蔵釈迦如来像模写、奈良国立博物館所蔵十一面観音像模写、釈迦金棺出現図模写				●神護寺所蔵《釈迦如来像》模写1点、奈良国立博物館所蔵《十一面観音像》模写1点、釈迦金棺出現図模写1点。 ○美しい朱色の着衣から「赤釈迦」の名で知られる釈迦如来像、彩色と截金が鮮やかな十一面観音像、劇的な再生説法の場面を描く釈迦金棺出現図の模写をご紹介します。	
秋季第3期	法隆寺金堂壁画模写秋季展	平成22年 11月16日(火)～ 11月30日(火)	21日(日) 22日(月) 29日(月)	11	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	166
	特別陳列－ 神護寺所蔵肖像画模写				●神護寺所蔵肖像画模写4点。肖像画史上、最高傑作とされる伝源頼朝像をはじめ、伝平重盛像、伝藤原光能像および文覚上人像の模写をご紹介します。	
春季第1期	法隆寺金堂壁画模写春季展	平成23年 3月16日(水)～ 3月31日(木)	20日(日) 21日(月) 28日(月)	13	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	137
	特別陳列－ 西大寺十二天像模写				●西大寺十二天像模写12点。奈良西大寺に伝わるわが国最古の十二天像模写をご紹介します。	
★春季3・4・5、秋季9・10・11月の各月16日から開館。 ★芸術祭10月30日から11月1日(予定)まで開館。 ★期間中、月、日曜日休館(各月最終の日曜日は開館)				76		1714



平成23年度法隆寺金堂壁画模写展示館展覧会

期	展示の名称	展示の期間	休館	日数 (休館を含 めず)	展示作品及び内容	入館者
春季 第2期	法隆寺金堂壁画模写春季展	4月16日(土)   4月30日(土)	17日(日) 18日(月) 25日(月)	12	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。昭和24年に焼損した法隆寺金堂壁画の四方浄土図4面と諸菩薩像8面。内陣に描かれた20面の飛天図とともに現状模写で再現し公開します。制作当初の姿に復元した飛天図1点も併せて陳列します。	175
	特別陳列— 西大寺十二天像模写				●西大寺十二天像模写12点を展示。奈良西大寺に伝わるわが国最古の十二天像模写をご紹介します。	
春季 第3期	法隆寺金堂壁画模写春季展	5月17日(火)   5月31日(火)	22日(日) 23日(月) 30日(月)	12	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	133
	特別陳列— 高松塚古墳壁画模写				●高松塚古墳壁画東北壁画模写、及び天井画模写各1点、合計4点を展示。近年劣化が問題化されている高松塚古墳壁画。1972年、発見当初と変わらない美しい色彩を、そのまま写した現状模写を公開します。	
秋季 第1期	法隆寺金堂壁画模写秋季展	9月16日(金)   9月30日(金)	18日(日) 19日(月・祝) 26日(月)	12	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	265
	特別陳列— 東寺所蔵《両界曼荼羅図(西院曼荼羅)のうち胎藏界》模写と 仏画模写				●三年の歳月をかけて完成した京都東寺所蔵《両界曼荼羅図(西院曼荼羅)のうち胎藏界》模写1点が、本大学で初披露。ほかにも、法華寺所蔵《阿弥陀三尊及び童子像》模写3点と、京都国立博物館所蔵《釈迦金柑出現図》模写を白描とあわせて展示。また、平安時代前期に描かれた日本最古の彩色曼荼羅図を展示。諸尊の隈取りをはじめ鮮やかな色彩まで忠実に写した模写とともに、その他仏画模写をご紹介します。	
秋季 第2期	法隆寺金堂壁画模写秋季展	10月20日(木)   11月6日(日)	23日(日) 24日(月) 31日(月)	15	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	424
	特別陳列— 東寺所蔵《両界曼荼羅図(西院曼荼羅)のうち胎藏界》模写と 仏画模写				●三年の歳月をかけて完成した京都東寺所蔵《両界曼荼羅図(西院曼荼羅)のうち胎藏界》模写をこの秋季展で展示し、ほかにも、法華寺所蔵《阿弥陀三尊及び童子像》模写3点と、京都国立博物館所蔵《釈迦金柑出現図》模写を白描とあわせて展示しています。平安時代前期に描かれた日本最古の彩色曼荼羅図。諸尊の隈取りをはじめ鮮やかな色彩まで忠実に写した模写とともに、その他仏画模写をご紹介します。	
秋季 第3期	法隆寺金堂壁画模写秋季展	11月16日(水)   11月30日(水)	20日(日) 21日(月) 28日(月)	12	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	151
	特別陳列— 東寺所蔵《両界曼荼羅図(西院曼荼羅)のうち胎藏界》模写と 仏画模写				●三年の歳月を経て完成した京都東寺所蔵の国宝《両界曼荼羅図(西院曼荼羅)のうち胎藏界》模写を展示しています。また、神護寺所蔵《釈迦如来像》模写、奈良国立博物館所蔵《十一面観音像》模写と京都国立博物館所蔵《釈迦金柑出現図》模写の3点は、模写の制作課程である「白描」とともに公開します。	
春季 第1期	法隆寺金堂壁画模写春季展	平成24年 3月16日(金)   3月31日(土)	18日(日) 19日(月) 26日(月)	12	●法隆寺金堂外陣壁画現状模写12点、同内陣壁画(飛天)現状模写20点。同内陣壁画(飛天)復元模写1点。	1148
	特別陳列— 神護寺所蔵《肖像画》模写と 東大寺所蔵《俱舎曼荼羅図》模写				●神護寺所蔵《肖像画》模写4点と東大寺所蔵《俱舎曼荼羅図》模写1点を展示。肖像画史上、最高傑作とされる《伝源頼朝像》模写をはじめ《伝平重盛像》、《伝藤原光能像》、《文覚上人像》の模写とともに、原本は東大寺に伝わる俱舎宗の祖師像を平安時代に描いたとされる国宝の模写を展示します。	
★春季3・4・5、秋季9・10・11月の各月16日から開館。 ★芸術祭11月3日から11月5日も含め開館。 ★期間中原則、月、日曜日休館(各月最終の日曜日は開館)				75		1148

平成22年度サテライトギャラリー実績

年度	利用事業名	専攻・責任者	展覧会会期	入場者数	内容
平成二十二年 度	オープニング展覧会	美術学部長・ 芸術資料館長	5月18日～5月30日 11:00～19:00	358	愛知県立芸術大学サテライトギャラリーがよいよオープンいたします。記念すべき第1弾のオープニング展覧会は、磯見輝夫学長をはじめ、日本画専攻教授の松村公嗣先生、油画専攻教授の山本富章先生彫刻専攻准教授の森北伸先生がご出展されます。
	“12RUNES” JOHN STUART-MURRAY展 (「12の木の言葉」ジョンステュアートマレー展)	デザイン・水津先生	6月24日～7月8日 11:00～19:00	75	スコットランドを代表する12種の樹木の樹皮を撮影した写真作品と、それらの木に与えられた詩(言葉)の展覧会である。マレー教授の希望で会場には大学に自生する松、リョウブ、コナラの木を展示した。
	Udon Chimpukdee Exhibition (タイ国 研修研究者 研究発表展)	彫刻・今井先生	7月17日(土)17:00～内覧会・プレビュー オープニングパーティ 7月18日(日)～31日(土) 11:00～19:00	50	日本とは仏教という共通の文化的基盤をもちながら、テラ・バーナを母体とするタイ国では、仏教は自らの深遠に、日常そのものなかに存在しているのです。そのありかたは現在のわれわれとかなり異なっています。現在性としてのタイと、その根底に宿るもの、一見矛盾に満ちた実存、そこにウドム氏の彫刻の姿が見えてきます。今回の個展は「Seeing around in Nagoya」というコンセプトをもとに制作した彫刻が展示されています。東南アジアの現代美術に触れられる貴重な機会です。
	CIRCLE2	油画・寺内先生	8月11日(水)～8月25日(水)	519	この展覧会は、特定のキュレーターや批評家により、何か一つのテーマをもって構成された展覧会ではなく、「CIRCLE」=円形が示すのは、ひとつながりの輪として、アーティスト同士の間関係により派生、地域や大学を超えて広がっていったネットワークであり、今、この時代に生き、アーティストとして日々自身を更新させていこうとする作家同士が、作品を競い合わせる場である。
	デザイン学生による展覧会 「いただきます展」	デザイン・柴崎先生	平成22年8月30日から9月5日 12:00～19:00	360	
	佐藤克久・猪狩雅則「絵の向こう側」-over the painting-	油画・久保田先生	平成22年9月14日から9月26日 12:00～19:00	3,293	
	寺内曜子展—空中楼閣2010	油画・寺内先生	平成22年10月18日から11月14日 12:00～19:00	3,540	『空中楼閣』は1991年に東京のかんらん舎で発表後、国内、国外、7か所でそれぞれの場を取り込んで存在してきました。今回は名古屋で初めて、日本では1992年の国立国際美術館(大阪)以来18年ぶりにこの作品を体験していただける機会となりました。
	白木と佐藤の文字文字デザイン作品展	デザイン・白木先生	平成22年11月23日から11月28日 11:00～19:00	230	
	干支展(兔)	愛芸アシスト(小林課長)	平成22年12月3日から12月11日 12:00～19:00	238	本展覧会は、愛知県立芸術大学美術学部学生による来年の干支にちなんだドローイングの展覧会であり、学生の意思確認のうえ展示作品の販売も行う。その売上の一部は慈善団体に寄附する。
	博士後期課程生研究発表展	博士課程後期・ 美術学部長	1年生：平成22年12月15日～12月25日 11:00～17:00(土日祝日は19:00まで)	226	
	博士後期課程生研究発表展	博士課程後期・ 美術学部長	2年生第1回平成23年1月6日～1月16日 11:00～17:00(土日祝日は19:00まで)	167	
	博士後期課程生研究発表展	博士課程後期・ 美術学部長	第2回平成23年1月20日～1月30日 11:00～17:00(土日祝日は19:00まで)	127	
	デザイン専攻メディア領域3年展示企画 荒井照 exhibition—I was born	デザイン・柴崎先生	平成23年2月6日～2月16日 11:00～19:00	151	今最も旬な現代アーティスト、荒井照氏の日本初の個展を愛知県立芸術大学デザイン専攻の学生がプロデュースする。前代未聞のこの企画。デザインを学ぶ学生と、現代アーティストのコラボは、いったいどんな化学反応を起こすのだろうか？
	平成22年度二大学教員研究交流会	デザイン・佐藤先生 油画・山本先生	平成23年3月19日～3月24日	226	
合 計				9,560	

平成23年度サテライトギャラリー実績

年度	利用事業名	専攻・責任者	展覧会会期	入場者数	内容
平成二十三年 度	河村のみ展【再生】	油画・寺内先生	平成23年6月4日(土)～6月12日(日) 14:00～19:00	155	今回の展示は、場所と身体との関係性を強め、その場所でしか見る事の出来ない、不確かで確かなもの の存在するかたちを、自身がパフォーマーとして提示します。過去の行為が写し出されるのと同時に現在行わ れている行為がサテライトギャラリーの空間に、時に重なり合い、ずれあって、現れます。
	二重に出歩くもの	油画・倉地先生	平成23年6月29日(水)～7月23日(土) 12:00～18:00	543	
	須釜陽一展	油画・寺内先生	平成23年8月19日(金)～8月28日(日) 11:00～19:00	86	
	Stick神話-内在律	彫刻・今井先生	平成23年10月1日(土)～10月16日(日) 11:00～19:00	90	『神話-内在律』と題した作品は、神話性のエキリチュールのなかに人間の根源的な実存への問いかけをし ています。また、民族の深淵に宿る黒色の平面の世界、韓国という民族に宿る洪鉉旗氏の創造する世界を 堪能してください。
	愛・知・芸術のもりから-美術学部教員展	美術学部長・ 芸術資料館長	平成23年10月28日(金)～11月13日(日) 11:00～19:00	140	愛知県立芸術大学サテライトギャラリーは、このたびオープン1周年を迎えました。オープニング点に続く第 二弾として、デザイン、陶磁専攻教員による作品展を開催いたします。
	干支展(辰)	愛芸アシスト(小林課 長)	平成23年11月16日から11月29日 12:00～19:00	237	本展覧会は、愛知県立芸術大学美術学部学生による来年の干支にちなんだドローイングの展覧会であり、 学生の意思確認のうえ展示作品の販売も行う。その売上の一部は慈善団体に寄附する。
	博士後期課程生研究発表展	博士課程後期・ 美術学部長	1・2年生:平成23年12月16日～12月24日 11:00～17:00(土日祝日は19:00まで)	169	
	博士後期課程生研究発表展	博士課程後期・ 美術学部長	第3年生平成24年1月9日～2月11日 11:00～17:00(土日祝日は19:00まで)	438	
	メディア領域企画展	デザイン 柴崎准教授	平成24年2月18日(土)～2月26日(日) 12:00～18:00	131	そのひとを、形づくるものはなんだろう？過去の経験、住んでいる場所、読んだ本、家族、ともだち、遺伝子、 好み……。広大な記憶によって形成されるそのひとは わたし でもあり 他人 でもある。屋下がり、ふた りの人物、青空に、強く光る飛行物体。「光は、何であったのか？」をめぐって、二つの意見は対立する。ひと つの光を「見た」ふたりの「見方」を通して、私たちは緩やかな他者理解の考え方を発信する。
GOLD EXPERIENCE	油画 白河准教授	平成24年3月9日(土)～3月18日(日)	140	本展は2010年5～6月に韓国ソウルのHYUN GALLERYにて開催された展覧会「GOLD EXPERIENCE ～日韓現代金箔絵画展」を巡回開催する国際交流展です。「金のしゃちほこ」を戴く名古屋を誇る尾張名 古屋の地で、絵画における「金」の魅力を再発見してください。	
合 計				2,129	

平成23年度 藤沢アートハウス企画一覧表

	時期	利用形式	企画タイトル	内容	申請者氏名	実施者	入場者数
1	平成23年 7月30日、31日、 8月6日、7日	記念展・記念イ ベント	オープニング記念展・ 記念イベント	美術と音楽による アート・ハイブリッドな空間の創造	大学主催企画	寺井尚行、井出創太郎、神田每実、山本富 章等	135
2	平成23年8月1日 ～平成24年3月 31日	アトリエ	豊田市美術館企画展出品作制 作	豊田市美術館が2012年7月3日から開催する 企画展「カルペ・ディエム -花として、今日を生 きる-(仮)」の出品作を制作するためにアトリエ 利用する。	美術学部 山本富章教授	福永恵美(本学卒業生)	
3	平成23年 8月17日、18日	ワークショップ	竹炭を使ったドローイング① (影のワークショップ)	藤沢地区で住民によって作られている竹炭を使って 影をなぞり人物のシルエットを作りだす。豊田市美 術館の協力を得て、豊田市美術館ミュージアムフェ スタで展示予定。	美術学部教授 山本富章	山本富章及び山本ゼミ院生	20
4	平成23年 8月後半	アトリエ・研究	大学院生による制作	大学院生の大作の制作のためのアトリエとす る	美術学部教授 山本富章	衣川三香子、江上真織	
5	平成23年 9月17日	演奏会	「14ひきのあさごはん」 音楽のついた絵本の読み聞かせ	音楽のついた絵本の読み聞かせ	音楽学部准教授 掛谷勇三	松島里佳 伊藤実彩 (掛谷ゼミ学生)	30
6	平成23年 10月15日	演奏会	スラブ音楽への旅	鈴木謙一郎がウクライナ滞在中に体験し、見聞きし たいろいろな出来事などを、ユーモアを交えたトーク で楽しみながら、演奏を通して、スラブ音楽の魅力 に迫る。	音楽学部准教授 鈴木謙一 郎	鈴木謙一郎	34
7	平成23年 10月中～11月の 2、3週間程度	アトリエ・研究 ワークショップ	12ch空間音響音楽作品制作と ワークショップ	ホールに12chの音響空間システムを構築、2～3週 間程度設置し、空間音響音楽作品の制作を行う。そ の間に交代で制作を行い、終了期日頃に関連した ワークショップを行う。	音楽学部非常勤講師 大河内俊則	大河内俊則(非常勤)、岩本渡(非常勤) 作曲専攻学生、寺井尚行	
8	平成23年 11月13日	演奏会 ワークショップ	言葉と音	詩と音楽の関係、詩の愉しみについての話とコ ンサート、及び展示	大学主催企画	教養教育教授 二瓶浩明 音楽学部教授 北住淳 音楽学部准教授 中巻寛子	37

H22 年度アウトリーチ活動「アイチ・ジーン AICHI GENE -some floating affairs-」  
実施結果報告

平成 23 年 4 月

1. 会期

愛知県立芸術大学芸術資料館 2010 年 9 月 14 日(火)～10 月 3 日(日) 18 日間  
清須市はるひ美術館 2011 年 2 月 1 日(火)～2 月 20(日) 18 日間  
豊田市美術館 展示室9ほか 2011 年 2 月 23 日(水)～3 月 6 日(日) 11 日間

2. 観覧者数

総観覧者数: 2,711 名  
愛知県立芸術大学芸術資料館 1,003 人  
清須市はるひ美術館 592 人  
豊田市美術館 展示室9ほか 1,116 人

3. 関連事業実施状況

(1) 芸術資料館 のべ 198 人

1	内覧会 プレイベント: サウンドパフォーマンス	9 月 13 日(月) 16:00 -	80 名
2	出品作家によるワークショップ 1 「田中元偉   たいけん! ふはいと光のインスタレーション」	9 月 18 日(土) 14:00 -	8 名
3	アーティスト・トーク	9 月 20 日(土) 14:00 -	50 名
4	出品作家によるワークショップ 2 「大崎のぶゆき   water drawing・とける絵を描こう」	9 月 25 日(土) 14:00 -	15 人
5	ミニコンサート Harpe & Flute DUO パープ: 廣瀬奏子   フルート: 志賀美保	9 月 22 日(水) 14:00 -	45 名

(2) 清須市はるひ美術館 のべ 106 人

1	出品作家によるワークショップ 1 「田中元偉   たいけん! ふはいと光のインスタレーション」	2 月 5 日(土) 14:00 -	11 名
2	出品作家によるワークショップ 2 「丹羽康博   自然なイタズラ」	2 月 12 日(土) 14:00 -	5 名
3	ミニコンサート 打のとき in はるひ	2 月 13 日(日) 14:00 -	45 名
4	アーティスト・トーク	2 月 19 日(土) 14:00 -	45 人

(3) 豊田市美術館 展示室 9 ほか のべ 115 人

1	音響・映像パフォーマンス	2 月 27 日(日) 14:00-15:30	55 名
2	アーティスト・トーク	3 月 6 日(日) 15:00 -	60 名

4. カタログ販売

印刷部数: 1,000 冊  
無料配布数: 434 冊  
(愛芸アシスト: 259 冊、関係者 175 冊、学内保管分: 354 冊)  
販売数: 212 冊

6. その他(担当者所見)

展覧会出品作家には大変なご尽力をいただき、きちんと展覧会として提示できた一つの機会となった。賛否両論あるだろうが、今後の継続をいかにしていくかが問われるだろう。

展覧会カタログに関しては、販売できたことが大きな一歩であった。しかしながら、今後、このような活動を継続する上で、あらゆることをすべて芸術資料館で賄ってきた現状を考えると、もうすこし人員の確保を要望したい。

## 【展覧会名称】

「アイチ・ジーン」

AICHI GENE -some floating affairs-

## 【趣旨】

「形あるものはいつか壊れる」といいます。単純にモノが壊れてしまうことや、信じていたものが失われるといった、不確定な出来事に対する悲しみや不安を感じることも少なくありません。昨今においては、あふれる情報に対し、何が現実で虚構なのかを判断する間もなく、その渦中に巻き込まれていきます。この流れのなかで、今どこに自分がいるのかということ、自身の眼や手という、触角を通して表すもののみリアリティを感じ、川に矢を刺すかのごとく確認しているのが、作家という立場なのかもしれません。

また、よく桜に代表されるように、古来日本人は、儂さという、美しいものが形を変え、散りゆく姿そのものに対する美意識を持ち合わせています。うつろい、変化する事象をみつめ、うっかりすれば過ぎ去っていくであろう情景を可視化することで、そこに存在する無常なもの、という現実と眼で触れているともいえるでしょう。

本展では、愛知県立芸術大学芸術資料館の第 3 回目を迎えるアウトリーチ活動として、こうした無常、そしてその内側にある、恒常の探求を鋭敏に感じさせる作品を、芸術資料館と清須市はるひ美術館の収蔵品のなかより広くご紹介いたします。卒業制作と現在という、作家の時の流れそのものを感じる作品や、現実と非現実のはざまで自身の感覚をたよりに、彼方の境地を追求するような作品など、今を生きる作家を改めて感じていただけることでしよう。

展覧会タイトルである「アイチ・ジーン」には愛知<sup>ジン</sup>人、愛知<sup>ジーン</sup>gene(遺伝子)という二つの意味を込めています。愛知県の郊外に位置する二つの小さな施設のコレクションを中心とした作品を、県の東に位置する芸術資料館、西に位置する清須市はるひ美術館、そして、東南に位置する豊田市美術館という 3 つの場所で、それぞれ内容を変えてご紹介するものです。愛知という場所で生まれた作家や作品、愛知県で見出され、美術館に収蔵された作品など、今を生きる作家たちの存在を、同じくアイチ・ジーンである県民をはじめ、多くの皆様により深く知っていただき、更なる発展を促す機会となることを強く願っています。

## 【会期】

愛知県立芸術大学芸術資料館(終了)	2010 年 9 月 14 日(火)～10 月 3 日(日) 18 日間
清須市はるひ美術館	2011 年 2 月 1 日(火)～2 月 20 日(日) 18 日間
豊田市美術館 展示室 9	2011 年 2 月 23 日(水)～3 月 6 日(日) 11 日間

【休館日】 月曜日

【入館料】 無料

【主催】 愛知県立芸術大学・愛知県立芸術大学芸術資料館

【助成】 愛芸アシスト・愛知県立芸術大学美術学部同窓会・財団法人愛銀文化財団

【協賛】 トヨタ自動車株式会社(豊田市美術館会場)

【協力】 清須市はるひ美術館・豊田市美術館

【後援】 愛知県・長久手町・清須市教育委員会・長久手町教育委員会  
中日新聞社・NHK 名古屋放送局

## 【会場】 愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学芸術資料館

住所：〒480-1194 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯 1-114

交通：市営地下鉄終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線(リニモ)乗り換え  
「芸大通」駅下車、徒歩約 10 分

Tel：0561-62-1180(内線 300・320) Fax：0561-62-0083(代)

開館時間：10:30～16:30(入館は 16:00 まで)

休館日：毎週月曜日(祝日は除く)

## 清須市はるひ美術館

住所：〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森 1

交通：JR 東海道本線清洲駅下車 徒歩約 20 分

Tel：052-401-3881 Fax：052-408-2791

開館時間：9:00～17:00(入館は 16:30 まで)

休館日：毎週月曜日(祝日は除く)

## 豊田市美術館 展示室9ほか

住所：〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

交通：名鉄豊田市駅または愛知環状鉄道新豊田駅より徒歩15分

Tel：0565-34-6610

開館時間：10:00～17:30（入場は17:00まで）

休館日：毎週月曜日（祝日は除く）

【関連イベント】 ※日時、内容等変更の可能性があります。

### ■ 愛知県立芸術大学芸術資料館(終了)

日付	イベントタイトル	内容	講師・出演者等	定員	参加料・対象
9月13日(月)	プレイベント 「サウンドパフォーマンス: intext」	デザイングループ intext によるライブパフォーマンス	intext	なし	参加料：無料 対象：一般
9月18日(土) 14:00～	出品作家によるワークショップ 「たいけん！ ふはいと光のインスタレーション」	採取した植物を瓶に詰め、作品と一緒に展示し、ふはいていく姿を観察します。スタンドグラスのように輝くガラス瓶の中の植物は、展示期間中変化していきます。	田中元偉	15人	参加料：300円 対象：6歳以上
9月20日 (月・祝) 14:00～	アーティストトーク	出品作家による作品解説	阿部大介・井出創太郎・坂本夏子・谷村彩・丹羽康博・長谷川冬香・森井開次・山田純嗣	なし	参加料：無料 対象：一般
9月25日(土) 14:00～	出品作家によるワークショップ 「water drawing・溶ける絵を描こう」	水溶性のシートに描いた絵を溶かしてモノタイプとよばれる作品を作ります。	大崎のぶゆき	15人	参加料：300円 対象：10歳以上
9月22日(水) 14:00～	ミニコンサート 「Harpe & Flute DUO」	愛知県立芸術大学音楽学部学生 2人によるハープとフルートのデュオ。	フルート：志賀美保 ハープ：廣瀬奏子	なし	参加料：無料 対象：一般

### ■ 清須市はるひ美術館

2月5日(土) 14:00～	出品作家によるワークショップ 「たいけん！ ふはいと光のインスタレーション」	採取した植物を瓶に詰め、作品と一緒に展示し、ふはいていく姿を観察します。スタンドグラスのように輝くガラス瓶の中の植物は、展示期間中変化していきます。	田中元偉	15人	参加料：300円 対象：6歳以上
2月12日(土) 14:00～	出品作家によるワークショップ 「自然なイタズラ」	美術館の周りがある花びらや葉っぱ、石など自然のものを集めて気に入った場所に並べます。みんなでそのイタズラを探して写真にします。	丹羽康博	15人	参加料：300円 対象：6歳以上
2月13日(日) 14:00～	ミニコンサート 「打のとき in はるひ」	愛知県立芸術大学打楽器アンサンブルによるコンサート 曲目: Table Music (作曲: hierry de Mey) Stubernic (作曲: Mark Ford)ほか	愛知県立芸術大学大器楽専攻管打楽器コース学生 & 深町浩司	なし	参加料：無料 対象：一般
2月19日(土) 14:00～	アーティストトーク	出品作家による作品解説	井出創太郎・田中元偉 森井開次・神田每美	なし	参加料：無料 対象：一般

### ■ 豊田市美術館(展示室9) ※予定(日時内容等変更の可能性があります)

3月5日(土) 14:00～	アーティストトーク	出品作家による作品解説	阿部大介・安藤陽子・上田暁子・坂本夏子・鈴木雅明・谷村彩・長谷川冬香・山田純嗣	なし	参加料：無料 対象：一般
-------------------	-----------	-------------	---	----	-----------------

2月27日(日) 14:00～	「サウンドパフォーマンス:intext」	デザイングループ intext によるライブ パフォーマンス	intext	なし	参加料:無 料 対象:一般
--------------------	----------------------	-----------------------------------	--------	----	---------------------

【主な出品者】

阿部大介 安藤陽子 井出創太郎 今林明子 上田暁子 大崎のぶゆき 大西 久  
カミムラケイサク 神田每実 城戸 保 坂本夏子 鈴木雅明 田中元偉 谷村 彩  
丹羽康博 長谷川冬香 細井博之 森井開次 森川美紀 山田純嗣 吉本作次

【連絡先】

**愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学芸術資料館**

住所： 〒480-1194 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯 1-114

交通： 市営地下鉄終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）乗り換え  
「芸大通」駅下車、徒歩約 10 分

Tel： 0561-62-1180(内線 300・320)

Fax： 0561-62-0083(代)

担当： 浅井ゆき・神谷麻理子



## 「愛知県立芸術大学模写研究40年の歩み 国宝・至宝模写作品展」報告

**会期** 2011（平成23）年8月13日（土）～28日（日） 会期16日間

**会場** 松坂屋美術館（名古屋）

**主催** 愛知県立芸術大学 中日新聞社 松坂屋美術館

**担当** 角島直樹 教授、岡田眞治 准教授（日本画専攻）

### 出品点数

愛知県立芸術大学 42点とその他資料

- ・ 法隆寺金堂壁画12面より 最新完成作 東寺所蔵《両界曼荼羅図（西院曼荼羅）のうち胎藏界》まで
- ・ 飛天図復元パネル1点、模写研究資料1式、模写製作過程パネル11枚

その他

名古屋城総合事務所 11件15点のほか

安城市歴史博物館 一幅、岐阜市歴史博物館 一幅、真長寺 一幅

**総入場者数** 23,067名（一日平均1,442名）

### 関連イベント

ワークショップ（会期中） 参加者数 6,400名（当初見込み1,000名程度）

午前10時半～午後5時としていたが、好評のため午後7時閉館まで延長

ギャラリー・トーク 8月14日（日）岩永てるみ 准教授 約80名

8月21日（日）吉村 佳洋 准教授 約80名

### 主な関連制作物

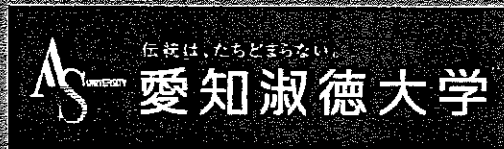
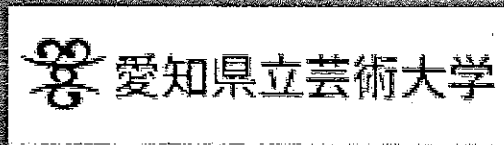
- ・ デジタル画像（図録製作用および保存用）撮影 模写作品42点
- ・ 広報用ポスター、ちらし（デザイン；白木彰 教授）
- ・ 図録「愛知県立芸術大学 委託事業 模写作品集」  
刷部数 2,000冊（うち600冊販売；松坂屋美術館にて）
- ・ 法隆寺金堂壁画模写館 広報掲示用ポスター
- ・ ワークショップ用模写下絵（鳥獣戯画他）

### 作業

- ・ 搬送および作業取扱業者 ヤマトロジスティクス株式会社 名古屋美術品センター
- ・ 点検および搬入、展示、搬出作業については、大学資料であるため資料館学芸員が立会

全作品が一斉に本学初の学外出品であったので、搬入・搬出をはじめ搬送等に懸念事項が多かったが、無事会期も終了し作業を終えることが出来た。結果として、主催者も含め、予想以上の入館者数を記録した。大学では今回のように全作品の展示は難しいが、松坂屋美術館という美術品に適した環境で展示・公開でき、大学の評価にも、また広報効果としてもひとつの成果を得ることができた事業となり、来館者からも好評であった。

みんなでも共有



していています

# みんなで共有しています！



平成20年度文部科学省大学連携支援事業  
「共同図書環（館）の新たな教養教育プログラムの開発」は  
平成23年度から「共同図書環事業」として事業継続しています。

Tosho  
Ring

## 「共同図書環」って何？

共同図書環事業の連携校である愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学の図書館が連携して、共同図書を約12,000冊の教養書や専門書などを購入しました。それが共同図書環です。連携校にある共同図書は、取寄せて貸出ができます。

## 「ToshoRing」って何？

ToshoRingは連携する5大学で共同の蔵書を構築し、運用するネットワークシステムです。ToshoRingに書評を投稿して自分の読んだ図書を他の人にお薦めしたり、図書について情報交換ができます。図書を検索するだけでなく、連携校の先生や学生が投稿した書評からも図書を検索でき、書評を参考にして図書を選べます。

ベストセラー小説やエッセイ、実用書など話題の教養図書、文学、芸術、音楽、教育などの専門図書、学生や教員が選んだ「共同図書環」の約12,000冊が「あなた」を待っています！

貸出冊数 3冊

貸出期限 2週間

利用者ID登録は所属する大学図書館をお願いします

## 「学生選書バスツアー」って何？

連携校の希望者と一緒にバスに乗って名古屋市内の書店へ共同図書環の図書を買に行く半日ツアーです。読書後に意見交換会・茶和会もあります。連携校学生との交流にご参加ください。募集情報をお楽しみに！

## 「図書交流会」って何？

事前にお知らせするテーマからイメージする図書や図書フレーズなどを紹介したり、テーマを元に自ら作った絵や曲などを披露・紹介する会です。連携校の学生のみならず教職員の参加を呼び掛けています。連携校との幅広い交流はいかがですか？

趣味・教養・研究に結びつく図書がきっと見つかるはずです。そしてToshoRingを使うととっても楽しいことができます。講義の合間に大学図書館で運営している「共同図書環」の本棚を是非のぞいてみてください。そしてお気に入りの一冊を借りてみましょう。

その際には、利用者ID登録を忘れずに。

みんなの意見・要望で作っていく事業です。大学間の連携の進め方の提案、意見、質問などお気軽にお寄せ下さい。

携帯電話からのアクセスはココから→



事業の問い合わせ：愛知県立大学 共同図書環事業事務局 TEL：0561-64-1111（内線6101）  
dairan@lib.aichi-pu.ac.jp <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairan/>

\*このキャラクターは名古屋学芸大学メディア造形学部生(当時)の作品です。

戦略的大学連携支援事業の事業実績一覧（平成20～22年度）

平成20年度 実施状況

実施日	実施内容
6月6日	【①事業の運営】 運営準備委員会
6月11日	【①事業の運営】 事業申請書提出
8月25日	【①事業の運営】 補助金説明会
8月27日	【①事業の運営】 実務責任者会議
9月2日	【①事業の運営】 補助金調書提出
10月7日	【①事業の運営】 交付申請書提出
10月20日	【②共同図書環】 第一回図書部会
11月20日	【①事業の運営】 第一回運営委員会
11月20日	【②共同図書環】 第二回図書部会
12月1日～24日	【②共同図書環】 近所の書店で蔵書を選ぼう（大学によって実施期間は相違）
12月1日～2日	【②共同図書環】 先進事例調査（九州）
12月4日～5日	【②共同図書環】 先進事例調査（東京、横浜）
12月17日	【②共同図書環】 「第一回学生による選書バスツアー」実施
12月24日	【②共同図書環】 第三回図書部会
1月12日	【①事業の運営】 文部科学省合同フォーラムポスターセッション参加
1月13日	【③教養教育プログラム】 第一回教育プログラムサポート委員会
1月21日	【③教養教育プログラム】 第二回教育プログラムサポート委員会
1月28日	【③教養教育プログラム】 第一回教育部会
2月4日	【②共同図書環】 第一回ネットワークシステムサポート委員会
2月19日	【②共同図書環】 第四回図書部会 【③教養教育プログラム】 第二回教育部会
3月6日	【①事業の運営】 内部評価委員会 【③教養教育プログラム】 大学図書館司書のためのSD「大学図書館司書の視点と役割」
3月11日	【①事業の運営】 外部評価委員会
3月16日	【②共同図書環】 第二回ネットワークシステムサポート委員会
3月18日	【①事業の運営】 第二回運営委員会
3月25日	【③教養教育プログラム】 連携公開講座 「ヤングアダルト小説を読む」

平成 21 年度 実施状況

実施日	実施内容
4月23日	[②共同図書環] 第一回図書部会
4月24日	[③教養教育プログラム] 第一回教育部会
6月5日	[愛知県立大学図書館] 教員と学生による図書の選書募集
6月15日 ～7月22日	[名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館] 「共同図書環ライブラリーカードデザイン」公募
6月25日～26日	[②共同図書環] 先進事例調査（金沢）
6月28日～29日	[②共同図書環] 先進事例調査（東京）
6月29日	[愛知県立芸術大学図書館] 教員と学生による図書の選書募集
7月1日	[名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館] 教員と学生による図書の選書募集
7月1日～24日	[愛知淑徳大学図書館] 大学生に薦めたい本（一般教養図書・準専門図書）選書
7月1日 ～10月23日	[愛知県立大学図書館] 内田樹氏の著作を集めた展示
7月2日	[愛知県立芸術大学図書館] 共同図書環（館）選書募集
7月15日～30日	[名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館] 共同図書環サポーター募集
7月21日	[愛知県立大学図書館] 読書チャンレジ開始（第1期）
7月24日	[③教養教育プログラム] 第二回教育部会
7月31日	[③教養教育プログラム] 第一回教養教育プログラム研究会 「他大学の事例から学ぶ 先進事例発表と意見交換会」
8月7日	[②共同図書環] 第一回 Tosho Ring 実務者会議
8月26日	[②共同図書環] [教員と学生による図書の選書]結果報告
9月16日 ～12月9日	[名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館] 「共同図書環ライブラリーカードデザイン」原画展
9月24日	[名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館] 「共同図書環ライブラリーカードデザイン」表彰式
9月26日	[③教養教育プログラム] 第二回教養教育プログラム研究会 連携公開講座 「大学で何を学ぶか」
10月19日	[②共同図書環] “Tosho Ring”運用開始
10月20日	[愛知県立大学図書館] 読書チャンレジ開始（第2期）
10月20日	[愛知県立大学図書館] “Tosho Ring”運用開始セレモニー
10月26日	[②共同図書環] 第二回 Tosho Ring 実務者会議
11月4日	[②共同図書環] “Tosho Ring”で取り寄せ開始
11月5日	[名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館] 「読書スタンプラリー」開始



11月18日	【②共同図書環】 「第二回学生による選書バスツアー」 実施
11月27日	【③教養教育プログラム】 第三回教養教育プログラム研究会 事例発表 「平成21年度全学共通科目について その現状と課題」
12月11日	【②共同図書環】 第二回図書部会
1月 7日	【①事業の運営】 平成21年度 大学教育改革プログラム合同フォーラム
1月27日	【③教養教育プログラム】 合同キャリア教育 「模擬集団面接」
1月29日	【②共同図書環】 第一回ネットワークシステムサポート委員会
2月22日	【①事業の運営】 内部評価委員会
3月 1日	【③教養教育プログラム】 第四回教養教育プログラム研究会 事例発表 「総合教養カリキュラムの概要と特徴」 第三回教育部会
3月 3日	【②共同図書環】 共同図書環 ToshōRing 登録1,000人目記念品贈呈式 (1月21日達成)
3月10日	【②共同図書環】 第三回図書部会
3月11日	【③教養教育プログラム】 先進事例調査 (京都)
3月17日	【①事業の運営】 外部評価委員会

平成22年度 実施状況

実施日	実施内容
5月14日	【①事業の運営】 第一回拡大運営委員会
5月24日	【②共同図書環】 ToshōRing の登録者数が2,000名を超えました。
6月10日	【②共同図書環】 「第三回学生による選書バスツアー」 実施
6月14日	【愛知県立大学図書館】 「学科専攻20冊」 展示
6月19日	【③教養教育プログラム】 「映像と音で探る 東西の地獄絵の旅ー神曲と六道絵ー」
6月28日	【③教養教育プログラム】 「地域連携シンポジウム～大学は地域にどのように貢献を進めるのか～」
7月1日 ～10月31日	【愛知淑徳大学図書館】 「書評・感想文で図書カードをプレゼント 読書チャレンジ2010」
7月28日	【②共同図書環】 共同図書環 ToshōRing 登録2,000人目記念品贈呈式 (5月24日達成)
8月 2日	【③教養教育プログラム】 教養教育プログラム研究会 事例発表 「芸術系学生に対する教養教育」
8月20日	【②共同図書環】 「次世代OPAC研究会」 開催
8月30日	【②共同図書環】 第一回 Toshō Ring 実務者会議
9月12日	【③教養教育プログラム】 第一回 長久手探訪3つのフィールドワーク 「長久手の農業を観る、食べる」

9月18日	<p>【③教養教育プログラム】</p> <p>第一回 地域学講座 長久手2010 「地域学概論」開催</p> <p>第二回 地域学講座 長久手2010 「小牧・長久手の戦をめぐる考察」</p>
9月27日～28日	【③教養教育プログラム】 先進事例調査（広島）
10月2日	<p>【③教養教育プログラム】</p> <p>第二回 長久手探訪3つのフィールドワーク 「長久手の植生観察」</p>
10月8日	【②共同図書環】 先進事例調査（横浜）
10月14日 ～11月12日	【愛知県立大学図書館】 「学科・専攻の20冊書評大賞」募集
10月13日	【①共同図書館】 「学生選書バスツアー・学生企画委員会」実施
10月16日	【③教養教育プログラム】 合同キャリア教育 「模擬集団面接」
10月23日	<p>【③教養教育プログラム】</p> <p>第三回 地域学講座 長久手学2010 「長久手町の地域づくりと美術」</p>
11月 3日	<p>【③教養教育プログラム】</p> <p>「伝説となったマドンナたちーイタリア文学・珠玉の名作への誘いー」</p>
11月 6日	<p>【③教養教育プログラム】</p> <p>第四回 地域学講座 長久手学2010 「長久手の文化・伝統芸能」</p>
11月13日	<p>【③教養教育プログラム】</p> <p>第五回 地域学講座 長久手学2010</p> <p>第三回 長久手探訪3つのフィールドワーク 「長久手の古地図を読む・歩く」</p>
11月17日	【②共同図書環】 「第四回学生による選書バスツアー」実施
11月20日	【③教養教育プログラム】 合同キャリア教育 「五大学の先輩たちに聞く」
11月30日	【①事業の運営】 学長懇談会
12月 4日	<p>【③教養教育プログラム】</p> <p>合同キャリア教育 「大学、企業、卒業生が共に考える学生のキャリア支援シンポジウム」</p>
12月 8日	【③教養教育プログラム】 「香音なときによせて」
12月22日	【愛知県立大学図書館】 「書評大賞」授賞式
12月24日	<p>【③教養教育プログラム】</p> <p>教養教育プログラム研究会 事例発表 「大学における教養教育の現状と未来」</p> <p>教育部会</p>
1月17日	【②共同図書環】 共同図書環 ToshoRing 登録3,000人目記念品贈呈式（12月27日達成）
1月24日 ～25日	【①事業の運営】 平成22年度 大学教育改革プログラム合同フォーラム
2月14日	【②共同図書環】 第二回 Tosho Ring 実務者会議
3月 9日	【①事業の運営】 内部・外部評価委員会
3月10日	【③教養教育プログラム】 大学職員のためのSD「グラフィックデザイン入門講座」
3月23日	【①事業の運営】 第二回拡大運営委員会

## 平成23年度 共同図書環事業 実績

実施日	実施内容
4月～	新入生向け共同図書環広報活動 入学時資料封入配布、オリエンテーション・ガイダンス・図書館案内ツアー等でのチラシ活用、掲示、館内設置等
4月～(前期)	【愛知県立芸術大学】教養教育講義「外国文化史」(水野留規准教授)において、Tosho Ring 活用授業(書評投稿などの読書活動による成績評定方式)
4月～(通年)	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】読書スタンプラリー Tosho Ring への書評投稿による景品(オリジナルメモ等配布)
4月1日 ～5月31日	【愛知県立大学】「学科・専攻の20冊」約240冊再展示(共同図書環コーナー) 教員が学生にむけて専門分野への入り口となる選りすぐりの各20冊を各学科・専攻ごと雑誌架に配架。学生の専門学習意識の向学心を高めた。
4月8日 ～5月6日	平成23年度 学生選書バスツアー企画委員募集
4月28日	「平成22年度 大学改革推進等補助金(戦略)実績報告書」集約・作成、文部科学省へ提出
5月10日	「平成20年度文部科学省戦略的の大学連携支援事業 実績報告書」発行、配布、事業用HP・愛知県立大学HP掲載
5月16日	平成23年度 図書発注等打合せ・感謝状贈呈(愛知県書店商業組合)(参加者4名)
5月17日	学生選書バスツアー学生企画委員会開催(愛知県立大学図書館会議室)(参加者10名) 学生の参加意欲を活かすために、バスツアーの企画運営について学生が主体に取り組んだ。
6月1日 ～6月30日	トリ キャラクター名称募集 共同図書環事業継承として愛称募集した。 (応募者3名)
6月1日	「Tosho Ring News 創刊号」発行(名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 取材)
6月1日 ～6月21日	学生選書バスツアー 募集
6月6日	平成23年度 第1回選書発注 【愛知県立大学】職員選書 【愛知県立芸術大学】教職員選書 【愛知淑徳大学】日本経済新聞社書評欄より選書 Lib.Mates(図書館学生サポーター)選書等 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】職員選書
6月22日	学生選書バスツアー実施(ちくさ正文館書店)(参加者35名) 学生選書バスツアー選書発注 学生や教職員が多く参加し、活気ある選書ツアーであった。
6月23日	中日新聞朝刊(なごや東版)に学生選書バスツアー記事掲載
6月24日	学生選書バスツアー企画委員会・反省会(愛知県立大学図書館会議室)(参加者5名)



6月28日	2011年度 東海地区協議会第1回研究会（名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎）研究会参加・図書館見学。 書架での知的発見、読書ヒントはテーマ展示において参考になる講演会であった。図書交流会企画運営するにあたり、業務参考となる手法、方向性、技術が得られ、大変有益な講演会であった。（参加者1名）
6月29日	Japan Knowledge フレンドセミナー2011（キャッスルプラザ）講演会参加（参加者1名） 今後の業務参考となる情報・手法・対策等が多々得られ、有益な講演会であった。
7月7日	第18回東京国際ブックフェア（東京ビッグサイト）専門セミナー参加 書店の業務内容を知るよい機会のセミナーであった。速やかな対応が接客業では大切な要素であるとの講演は業務対応という点で有益な講演会であった。（参加者1名）
7月7日	【ToshoRing システム】サーバ証明書更新
7月12日	中日新聞朝刊「学生之新聞」に学生選書バスツアー記事掲載 （学生選書バスツアーの学生企画委員・松林真衣さん記事採用）
7月22日	「トリ キャラクター命名記念式」（愛知淑徳大学星が丘分館）（参加者3名）
8月1日	「Tosho Ring News 第2号発行」（愛知県立芸術大学 取材）
8月5日	「平成22年度 大学改革推進等補助金（戦略）実績報告書」確認事項回答を文部科学省へ提出
夏季休暇中	【愛知淑徳大学】共同図書新着図書一部をテーマ展示コーナーに展示
7月11日 ～9月30日	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】共同図書環資料の学生選書募集 「この本を図書館に！！」
8月17日～	共同図書展示企画「・・・私たちにできることはなにか（東日本大震災関係）」 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】63冊展示（1階カウンター前展示コーナー） 【愛知県立芸術大学】28冊展示（2階閲覧室共同図書環書架横）
8月17日	「国公立私立大学を通じた大学教育改革の支援事業」の各公立大学における継続事業の実施についての照会を公立大学協会事務局へ提出
8月19日	「大学図書館の整備について（審議のまとめ）変革する大学にあって求められる大学図書館像一を受け、各大学図書館の参考になると思われる先進的な取り組みを広く紹介するための実践的例集」作成原稿を文部科学省へ提出
8月19・20日	【Tosho Ring】サーバ停止対応（電源保守に伴う作業、シャットダウン・起動確認）
8月24日	【Tosho Ring】愛知県立大学 SINET3 接続回線停止（確認作業）
9月1日～	【愛知淑徳大学】共同図書移動 長久手本館 4～9分類、星が丘分館 0～3分類 排架場所変更
9月14日～ 12月28日	【愛知県立大学】「もっと知ろうカフェのこと」展示
9月21日	共同図書環事業「図書部会」開催（愛知県立大学図書館会議室）（参加者8名）
10月1日	「Tosho Ring News 第3号発行」（愛知県立大学 取材）
10月1日～	「トリイの葉」配布

	トリイ命名記念、Tosho Ring の日を記念し、8種類の葉を各連携校図書館にて配布。
10月1日 ～10月15日	図書交流会企画委員募集
10月12日	Tosho Ring ID 申請 4000 人目登録達成 運用より約 2 年
10月16・17日	【Tosho Ring】 上半期システム機器に対する確認作業、LDAP サーバーバックアップ
10月19日	平成 23 年度 第 2 回選書発注 【愛知県立大学】学生・職員選書 【愛知県立芸術大学】職員選書 【愛知淑徳大学】日本経済新聞書評より選書 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】職員・学生選書
10月19日	平成 23 年度 第 1 回 図書交流会企画委員会開催（愛知県立大学図書館会議室） 学生が記録係チラシ係運営係等役割分担を行いテーマを決定した。（参加者 7 名）
10月19日	Tosho Ring の日 2009 年 10 月 19 日 Tosho Ring 稼働開始
10月20日	共同図書環事業案内チラシ完成
10月28日	2011 年東海地区協議会第 2 回研究会（中部大学）事例報告・図書館見学（参加者 2 名） 「大学連携による共同図書環の取組：学生視点に立った展示と学生の参画手法」について事例発表を行った。
10月31日	「大学図書館の整備について（審議のまとめ）変革する大学にあって求められる大学図書館像一を受け、各大学図書館の参考になるとされる先進的な取り組みを広く紹介するための実践的例集」修正確認を文部科学省へ回答
11月1日 ～11月25日	平成 23 年度 第 1 回 図書交流会参加者募集
11月9日	平成 23 年度 第 2 回 図書交流会企画委員会開催 （名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館多目的室） 図書交流会準備・予行演習などを行った。（参加者 8 名）
11月10日	先進事例調査（名古屋工業大学）助成金申請調査・書架・図書館見学（参加者 3 名） 助成金申請のために参考になる意見が得られ大変有益な事例調査であった。
11月24日	田嶋記念大学図書館振興財団助成金申請
11月29日	平成 24 年度 新入生向けチラシ完成 入学時資料封入配布、オリエンテーション・ガイダンス・図書館案内ツアー等での チラシ活用、掲示、館内設置等
11月30日	平成 23 年度 第 1 回図書交流会開催（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館） テーマ：「おススメの一冊」（参加者 15 名） 3 グループに分かれ、テーマに沿った図書を紹介した。読書の幅を広げられた等、読書活動に有用な活動でもあり、連携校との交流が大いにあった。
12月1日	「Tosho Ring News 第 4 号発行」（愛知淑徳大学 取材）
12月1日～ 2月15日	【愛知県立大学】「図書館ボランティア apul-s のおススメ本」展示

## 【共同図書環事業】

12月14日	平成23年度第3回図書交流会企画委員会開催（愛知淑徳大学図書館長室） 記録係による編集作業並びに意見交換が行われた。記録冊子作成に活発な意見交換がなされた。（参加者5名）
1月4日	私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会会誌「館灯」50号原稿投稿 「大学連携による共同図書環の取組：学生視点に立った展示と学生の参画手法」について事例発表に基づく原稿投稿。
1月11日 ～3月9日	平成23年度第2回図書交流会参加者募集
2月1日	「Tosho Ring News 第5号発行」（共同図書環事務局紹介）
2月17日	「平成22年度大学改革推進等補助金（戦略）実績報告書」確認事項回答を文部科学省へ提出
2月27日	共同図書環事業「実務者会議」開催（愛知県立大学図書館会議室）（参加者10名）
3月9日	平成23年度第2回図書交流会開催（愛知県立大学サテライトキャンパス） テーマ：「新入生・新生活応援のおススメの一冊」 2グループに分かれ、テーマに沿った図書を紹介した。前回よりも活発な図書紹介となった。（参加者8名）
3月9日	平成23年度第1回図書交流会冊子「BOOK PARTY 1」発行 学生企画委員・記録係による、第1回図書交流会での図書コメントの集約、交流会風景等をまとめた冊子。
春季休暇中	【愛知淑徳大学】図書館職員推薦の共同図書をテーマ展示コーナーに展示
3月29日	【Tosho Ring】下半期システム機器に対する確認作業
4月1日	【Tosho Ring】下半期Tosho Ring利用統計

## 美術学部 展覧会の開催状況(平成22年度～平成23年度)

年度	展 示 名 称	日数	入場者数	一日平均	備 考
22	油画・版画領域博士前期課程2年生研究発表展	8	446	56	
	油画・版画領域博士前期課程1年生研究発表展	8	349	44	
	油画専攻4年生研究発表展	8	343	43	
	デザイン専攻作品展	8	1060	133	
	第36回美術学部教員展	12	847	71	
	陶磁専攻作品展	8	212	27	
	彫刻領域博士前期課程生研究発表展	8	398	50	
	大学院博士前期課程デザイン領域研究発表展	8	247	31	
	卒業・修了制作優秀作品展/博士後期課程生作品展	7	366	52	
	平成22年度卒業・修了制作展(第1会場)	6	4,070	678	
	平成22年度卒業・修了制作展(第2会場)	6	403	67	
計	87	8,741	100		
23	博士前期課程2年生[油画・版画領域]研究発表展	8	336	42	
	博士前期課程1年生[油画・版画領域]研究発表展	8	316	40	
	油画専攻4年研究発表展	8	379	47	
	デザイン専攻作品展	8	1,005	126	
	第37回美術学部教員展	14	1,867	133	
	久保田裕教授退任記念展	10	622	62	
	博士前期課程生[彫刻領域]研究発表展	8	389	48	
	陶磁専攻作品展	8	198	25	
	博士前期課程生[デザイン領域]研究発表展	8	228	29	
	平成23年度卒業・修了制作展[第1会場]	6	4,307	717	
	平成23年度卒業・修了制作展[第2会場]	6	360	60	
平成23年度博士後期課程修了作品展	5	87	17		
計	97	10,094	104		

## 学位（博士）授与報告

報告番号	氏名	研究科（専攻）名	論文名	授与年月日
甲第1号	王 松林	美術研究科 美術専攻 (油画・版画分野)	「革紙を支持体とした、一版単色水性木版による新たな版画表現」 ー黒、白という二極の間に存在する無限の領域ー	平成24年3月25日
甲第2号	坂本 夏子	美術研究科 美術専攻 (油画・版画分野)	「絵の思考 ～描く行為が思考となる過程～」	平成24年3月25日
甲第3号	林 韓燮	美術研究科 美術専攻 (デザイン分野)	住居空間の比較による家具デザインの研究 ー日本と韓国の伝統的な要素を中心にー	平成24年3月25日

## 遠隔講義実績

平成 20 年度より、愛知県教育委員会の「愛知スーパーハイスクール研究指定推進事業」  
として、3 年間の外部資金を獲得し、岩倉総合高校と芸大を光回線で結び、高解像度のモニ  
ター映像とマイクをとおして、双方向でのコミュニケーションを図りながら遠隔指導する  
授業を行った。その後も自主事業として継続しており、芸術分野における新たな教育環境  
の開発に貢献している。

### 22 年度

	タイトル	担当教員	回数	高校側
美術	色彩学習	小林英樹	15	ビジュアルデザイン
美術	はじめての日本画	吉村佳洋	5	〃
音楽	声楽～バロック時代の器楽	安原雅之	1	音楽Ⅱ
音楽	声楽～古典時代のオペラ、武満徹	〃	1	〃
音楽	簡単な和音を使ったメロディー の作曲	小林 聡	2	〃
	計		24	

### 23 年度

	タイトル	担当教員	回数	高校側
美術	色彩学習	小林英樹	16	ビジュアルデザイン
美術	創造する形・心の中の情景	阿野義久	4	〃
音楽	簡単な和音を使ったメロディー の作曲	小林 聡	4	音楽Ⅱ
	計		24	

学外演奏会の開催状況(平成22年度～平成23年度)

平成22年度				
公演名	会場	主催	観客数	NPOとの連携
ヴィタリー・マルグリス ピアノリサイタル	三井住友海上しらかわホール	大学	321	
ヴィタリー・マルグリス 公開レッスン	宗次ホール	大学	174	○
愛知県立芸術大学管弦楽団春季特別演奏会	みよし市文化センターサンアート	みよし市・大学	697	
夢 サラマンカホールからの贈り物2010 パート1	サラマンカホール	大学	440	
室内楽の楽しみ	長久手町文化の家	大学・長久手町	213	
第43回定期演奏会(第1夜)	愛知県芸術劇場	大学	976	
第43回定期演奏会(第2夜)	愛知県芸術劇場	大学	855	
ケルンの風Ⅱ	三井住友海上しらかわホール	大学	478	
第11回ウインドオーケストラ定期演奏会	三井住友海上しらかわホール	大学	300	
管弦楽団秋季特別演奏会	尾張旭市文化会館	日進市・大学	897	
管弦楽団第21回定期演奏会	愛知県芸術劇場	大学	853	
愛知県立芸術大学オペラ(第1日)	長久手町文化の家	長久手町	509	
愛知県立芸術大学オペラ(第2日)	長久手町文化の家	長久手町	509	
愛知県立芸術大学オペラ	大府市勤労文化会館	大学	590	
金管室内楽のタベ	熱田文化小劇場	管打楽器専攻	不明	
ピアノ名曲のタベ	中村文化小劇場	名古屋市文化振興事業団・ピアノコース	不明	
弦楽合奏第5回定期演奏会	三井住友海上しらかわホール	弦楽合奏研究会	335	
室内楽のタベ	宗次ホール	弦楽器専攻	207	○
打のとき	長久手町文化の家	打楽器専攻	不明	
新進演奏家コンサート	天白文化小劇場	名古屋市文化振興事業団・ピアノコース	不明	
愛知県立芸術大学ドクトラルコンサート&レクチャー(2年次)	長久手町文化の家	長久手町・大学	148	
Law Brass Family	熱田文化小劇場	金管楽器コース	不明	
愛知県立芸術大学から音楽の贈り物	碧南市芸術文化ホール	碧南市・碧南市教育委員会	234	
夢 サラマンカホールからの贈り物2010 パート2	サラマンカホール	大学	535	
愛知県立芸術大学ドクトラルコンサート&レクチャー(1年次)	長久手町文化の家	長久手町・大学	101	
第42回卒業演奏会 第1部	愛知県芸術劇場	大学	690	
第42回卒業演奏会 第2部	愛知県芸術劇場	大学	502	
大学院生によるコンサートⅠ	宗次ホール	大学	183	
大学院生によるコンサートⅡ	宗次ホール	大学	98	
平成23年度				
公演名	会場	主催	観客数	NPOとの連携
愛知県立芸術大学管弦楽団春季特別演奏会	あま市美和文化会館	大学・あま市美和文化会館指定管理者	660	
アーティスト・イン・レジデンス2011(作曲)	長久手町文化の家森のホール	芸術創造センター	164	
第44回作曲作品演奏会	電気文化会館 ザ・コンサートホール	大学	321	
チャリティコンサート Vol.1	宗次ホール	大学	288	
チャリティコンサート Vol.2 第1部	長久手町文化の家森のホール	大学	155	
チャリティコンサート vol.2 第2部	長久手町文化の家森のホール	大学	158	
室内楽の楽しみ	長久手町文化の家森のホール	大学	210	
愛知県立芸術大学音楽学部 第44回定期演奏会 第1夜	愛知県芸術劇場コンサートホール	大学	531	
愛知県立芸術大学音楽学部 第44回定期演奏会 第2夜		大学	583	
愛知県立芸術大学ウインドオーケストラ 第12回定期演奏会	三井住友海上しらかわホール	大学(管打楽器コース)	216	
愛知県立芸術大学管弦楽団秋季特別演奏会	飛島村中央公民館	飛島村、愛知県文化振興事業団、大学	641	
愛知県立芸術大学管弦楽団第22回定期演奏会	愛知県芸術劇場コンサートホール	大学	911	
愛知県立芸術大学オペラ	刈谷市総合文化センター	大学	828	
金管室内楽のタベ	熱田文化小劇場	大学(金管研究室)	不明	
愛知県立芸術大学オペラ	長久手町文化の家森のホール	長久手町、同教育委員会、大学	450	
		長久手町、同教育委員会、大学	483	
ドクトラル・コンサート&レクチャー4	長久手町文化の家風のホール	長久手町、同教育委員会、大学	66	
愛知県立芸術大学学生によるピアノ名曲コンサート	中村文化小劇場	大学、名古屋市文化振興事業団	154	
ドクトラルコンサート&レクチャー5	長久手町文化の家森のホール	長久手町、同教育委員会、大学	76	
弦楽合奏 第6回定期演奏会	三井住友海上しらかわホール	大学(弦楽器コース)	380	
新進演奏家コンサート ピアノ名曲のタベ	天白文化小劇場	大学、名古屋市文化振興事業団	214	
打のとき	長久手町文化の家森のホール	大学(打楽器研究室)	330	
本学弦楽器学生による室内楽のタベ vol.10	宗次ホール	大学(弦楽器コース)	254	
第43回卒業演奏会	愛知県芸術劇場コンサートホール	大学	第1部589 第2部568	
ドクトラルコンサート&レクチャー6	長久手町文化の家風のホール	長久手町、同教育委員会、大学	71	
大学院生によるコンサートⅠ ～最優秀修了生の競演～	宗次ホール	大学	104	
大学院生によるコンサートⅡ ～最優秀修了生の競演～		大学	114	

学内演奏会の開催状況(平成22年度～平成23年度)

会場:奏楽堂

年度	公演名	観客数
22	第634回(管打楽器)	不明
	第635回(管打楽器)	不明
	第636回(弦楽器)	不明
	第637回(ピアノ)	不明
	第638回(ピアノ)	116
	第639回(弦楽器)	不明
	第640回(弦楽器)	115
	第641回(声楽)	125
	第642回(声楽)	不明
	第643回(声楽)	不明
	第644回(管打楽器)	不明
	第645回(ピアノ)	不明
	第646回(管打楽器)	不明
	第647回(声楽)	不明
	第648回(ピアノ)	不明
	第649回(作曲)	不明
	第43回作曲作品演奏会	不明
ポピュラークラシックコンサート	550	

年度	公演名	観客数
23	第650回(管打楽器)	70
	第651回(作曲)	60
	第652回(管打楽器)	70
	第653回(弦楽器)	80
	第654回(弦楽器)	90
	第655回(弦楽器)	80
	第656回(ピアノ)	90
	第657回(ピアノ)	90
	第658回(声楽)	85
	第659回(声楽)	80
	第660回(声楽)	90
	第661回(管打楽器)	60
	第662回(管打楽器)	70
	第663回(声楽)	60
	第664回(ピアノ)	60
	第665回(ピアノ)	60
	ポピュラークラシックコンサート	424



平成 22 年度 理事長特別研究 複合芸術プロジェクト

末吉利行 (音楽学部教授、公演責任者)

吉村佳洋 (美術学部准教授、舞台美術制作)

2010 年度 愛知県立芸術大学オペラ公演 歌劇《カルメン》

演 目：《カルメン》(Alkor 版/日本語上演)

作 曲：G.ビゼー Georges.Bizet

台 本：H.メイヤック H.Meilhac / L.アレヴィ L.Halevy

日本語台本：家田淳

原 作：P.メリメ P.Merimee

	長久手公演		大府公演
日付	12月4日〔土〕	12月5日〔日〕	12月12日〔日〕
会場	長久手町文化の家 森のホール (定員 509 席)		大府市勤労文化会館もちのきホール (定員 707 席)
主催	長久手町、長久手町教育委員会、愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学		愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学
共催			大府市
後援	愛知県立芸術大学を支援する会 (愛芸アシスト)		愛知県立芸術大学を支援する会 (愛芸アシスト)、大府市文化協会
入場者	489 名 (97.8 割 完売)	482 名 (94.6 割 完売)	590 名 (83.4 割 完売)

経費について

1400 万円に及ぶ経費を下記の収入を得て実施した

理事長特別研究費、愛芸アシスト助成金、学長特別研究費、長久手町公演負担金、大府市負担金、繰越金 (平成 21 年度大府公演入場料収入)、経常経費 (演奏会費)、平成 22 年度大府公演入場料収入

2011 年度 愛知県立芸術大学オペラ公演 喜歌劇《こうもり》

開催概要

演 目：喜歌劇《こうもり》(日本語上演)	Die Fledermaus
作 曲：J.シュトラウスⅡ世	Johann Strauss II
台 本：R.ジュネ	R.Genée
原 作：L.アレヴィ	L.Halévy
H.メイヤック	H.Meilhac

指 揮：佐藤正浩

演 出・日本語台本：飯塚励生



	刈谷公演	長久手公演	
日付	12月4日(日)	12月10日(土)	12月11日(日)
会場	刈谷市総合文化センター アイリス 大ホール(1階席のみ 1005席)	長久手町文化の家 森のホール (定員 509席)	
主催	愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学	長久手町・長久手町教育委員会、愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学	
共催	刈谷市・刈谷市教育委員会・刈谷市総合文化センター(指定管理者 KCSN 共同事業体)	/	
後援	愛知県立芸術大学を支援する会 (愛芸アシスト)		
入場者	828名(82.3%)	450名 (88.4 名)	483名 (94.8 名 完売)

次期中期計画案について

教 育	1 教育に関する目標	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)に基づき、芸術活動の意欲が高く、実技の基礎能力がある学生を獲得する。</li> <li>・様々な媒体による本学の魅力を発信し、入試広報活動を充実させる。</li> </ul>
	(2) 学部教育及び大学院教育 学生一人ひとりへのきめ細やかな指導に基づく世界レベルの専門・実技教育を促進し、芸術文化を担い、かつ創造する芸術家、研究者、教育者等、芸術文化に携わる優れた人材を育成する。 特に大学院教育においては、学部教育を基礎とした専門教育の充実を図りながら、様々な芸術表現に対応できる高度な専門能力を有する人材や自立して活動し得る芸術家・研究者、芸術文化の分野において中核的・指導的役割を担うことができる人材を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進化と深化」の観点から、領域・専門性と基礎の関係を見直し、指導・研究を充実させる。</li> <li>・文化財、芸術作品・デザイン作品の研究、調査、保存修復、理論研究等の推進を図る。</li> <li>・基礎教育のあり方を再検証し、専門分野の基礎教育の充実を図る。</li> <li>・学生一人ひとりへの魅力あるきめ細かい教育を実践・継続する。</li> <li>・著名なアーティスト・研究者を招聘し、世界レベルの専門・実技教育を促進する。</li> <li>・現代美術・現代音楽の研究を充実させる</li> <li>・学生の国際交流事業の充実と継続を目指す。</li> <li>・独創性を持ちながら、なお多様な価値観を理解し、自己の芸術性を探求できる人材を育成する。</li> <li>・博士課程においては、前期・後期課程の連携を促進し、副指導教員を配置するなど研究・指導体制の充実を図る。</li> </ul>
	(3) 卒業・修了認定 卒業生と修了生の質を保証するため、成績評価基準を常に検証し必要に応じて改善するとともに、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)に基づき適正に卒業認定を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の質を保証するため、成績評価基準を常に検証する。</li> </ul>
	(4) 学生への支援 学生の学習環境の整備や、国際的な芸術教育・活動、進路、健康管理、経済的な支援などを通じて、学生の学ぶ意欲を高めるとともに、安心して修学を継続できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境の整備や活動の場を充実させ、学生の学ぶ意欲を高める。</li> <li>・留学生の派遣と受入により、学生の国際交流を図る。</li> <li>・学生の将来の目標、将来設計を啓発し、卒業後の自立に向けた支援をする。</li> </ul>
研 究	2 研究に関する目標	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界レベルの質の高い研究の深化・展開とその継続を図る。</li> <li>・海外提携校・教育研究機関等との交流の充実を図る。</li> <li>・展覧会・演奏会を通じた芸術活動を推進し、社会に対する研究成果の積極的な公表を促進する。</li> </ul>
地 域 連 携 ・ 貢 献	3 地域連携・貢献に関する目標	
	地域の芸術文化を担い、支える人材の育成、県民が芸術に親しむ機会の創出など、愛知県や他の自治体、産業界、名古屋市立大学などの他大学、地域社会等との多様な連携を通じて、芸術文化の発展に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県や他の自治体、産業界、他大学、地域社会との連携を通じて、地域文化を担う人材を育成するとともに、県民が芸術に親しむ機会を創出する。</li> <li>・芸大と地域の連携を促進するための体制の整備を進める。</li> <li>・文化財の保存・再生・継承事業等を推進する。</li> </ul>